

科目名	キャリア教育(1)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	梅村雄也
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	建学の理念である「人間教育」をベースに、プロミュージシャンとして必要な「身構え」「気構え」「心構え」を学び、コミュニケーション能力、思考力、協調性、勤労観、職業観などを身につけます。						
到達目標	1年間のキャリア教育を通して、アーティスト・プロミュージシャンとして仕事をしていく上で必要な人間力を養い、自らがリーダーとなり、主体的に行動ができるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月21日	講義・演習	教室の使用方法・ITリテラシー・仲間作りのアクティビティ	ワークシート
2	5月28日	講義・演習	生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
3	6月4日	講義・演習	音楽業界について学ぶ・アクティビティ	ワークシート
4	6月11日	講義・演習	生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
5	6月18日	講義・演習	オーディションシートの作成	ワークシート
6	6月25日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
7	7月2日	講義・演習	職業紹介・アクティビティ	ワークシート
8	7月9日	講義・演習	セッティング図を学ぶ・アクティビティ	ワークシート
9	7月16日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
10	7月30日	講義・演習	ビジネス講座・アクティビティ	ワークシート
11	8月6日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
12	8月20日	講義・演習	ビジョンと目的について学ぶ・アクティビティ	ワークシート
13	8月27日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
14	9月3日	講義・演習	イベントを通じて企画力やプレゼンテーションについて学ぶ	イベント開催の準備・チームミーティングを時間外学習とする
15	9月10日	講義・演習	イベントを通じて企画力やプレゼンテーションについて学ぶ	イベント開催の準備・チームミーティングを時間外学習とする
準備学習 時間外学習			毎週渡されるワークシートを用いて学習する	
【使用教科書・教材・参考書】				
ワークシート				

科目名	キャリア教育(2)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	梅村雄也
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	建学の理念である「人間教育」をベースに、プロミュージシャンとして必要な「身構え」「気構え」「心構え」を学び、コミュニケーション能力、思考力、協調性、勤労観、職業観などを身につけます。						
到達目標	1年間のキャリア教育を通して、アーティスト・プロミュージシャンとして仕事をしていく上で必要な人間力を養い、自らがリーダーとなり、主体的に行動ができるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月8日	講義・演習	後期の過ごし方について・アクティビティ	ワークシート
2	10月15日	講義・演習	生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
3	11月5日	講義・演習	新人発掘プレゼンテーションについて・アクティビティ	ワークシート
4	11月12日	講義・演習	生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
5	11月19日	講義・演習	オーディション対策	ワークシート
6	11月26日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
7	12月3日	講義・演習	ビジョンと目的目標の再確認・アクティビティ	ワークシート
8	12月10日	講義・演習	セッティング図を学ぶ・アクティビティ	ワークシート
9	12月17日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
10	1月7日	講義・演習	冬休みの過ごし方・2年生への準備について・アクティビティ	ワークシート
11	1月14日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
12	1月21日	講義・演習	SNSについて学ぶ・アクティビティ	ワークシート
13	1月28日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
14	2月11日	講義・演習	イベントを通じて企画力やプレゼンテーションについて学ぶ	イベント開催の準備・チームミーティングを時間外学習とする
15	2月18日	講義・演習	イベントを通じて企画力やプレゼンテーションについて学ぶ	イベント開催の準備・チームミーティングを時間外学習とする
準備学習 時間外学習			毎週渡されるワークシートを用いて学習する	
【使用教科書・教材・参考書】				
ワークシート				

科目名	キャリア教育(3)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	梅村雄也
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	建学の理念である「人間教育」をベースに、プロミュージシャンとして必要な「身構え」「気構え」「心構え」を学び、コミュニケーション能力、思考力、協調性、勤労観、職業観などを身につけます。						
到達目標	キャリア教育を通して、チームワークでの作業や、将来設計を学び、卒業後の自身の活動をセルフマネジメントしながらエンターテインメント業界の視野を広げて業界の即戦力となるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月21日	講義・演習	教室の使用方法・ITリテラシー	ワークシート
2	5月28日	講義・演習	生活レポートの記入	ワークシート
3	6月4日	講義・演習	音楽業界について学ぶ・アクティビティ	ワークシート
4	6月11日	講義・演習	生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
5	6月18日	講義・演習	未来の音楽業界を考える	ワークシート
6	6月25日	講義・演習	プレゼンテーションの方法を学ぶ	ワークシート
7	7月2日	講義・演習	2020年代の音楽コンテンツをクラスで考える	ワークシート
8	7月9日	講義・演習	プレゼン発表	ワークシート
9	7月16日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
10	7月30日	講義・演習	ビジネス講座・アクティビティ	ワークシート
11	8月6日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
12	8月20日	講義・演習	ビジョンと目的について学ぶ・アクティビティ	ワークシート
13	8月27日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
14	9月3日	講義・演習	イベントを通じて企画力やプレゼンテーションについて学ぶ	イベント開催の準備・チームミーティングを時間外学習とする
15	9月10日	講義・演習	イベントを通じて企画力やプレゼンテーションについて学ぶ	イベント開催の準備・チームミーティングを時間外学習とする
準備学習 時間外学習			毎週渡されるワークシートを用いて学習する	
【使用教科書・教材・参考書】				
ワークシート				

科目名	キャリア教育(4)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	梅村雄也
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	建学の理念である「人間教育」をベースに、プロミュージシャンとして必要な「身構え」「気構え」「心構え」を学び、コミュニケーション能力、思考力、協調性、勤労観、職業観などを身につけます。						
到達目標	キャリア教育を通して、チームワークでの作業や、将来設計を学び、卒業後の自身の活動をセルフマネジメントしながらエンターテインメント業界の視野を広げて業界の即戦力となるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月8日	講義・演習	後期の過ごし方について・アクティビティ	ワークシート
2	10月15日	講義・演習	生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
3	11月5日	講義・演習	新人発掘プレゼンテーションについて・アクティビティ	ワークシート
4	11月12日	講義・演習	生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
5	11月19日	講義・演習	ライフプランニングについて学ぶ	ワークシート
6	11月26日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
7	12月3日	講義・演習	ビジョンと目的目標の再確認・アクティビティ	ワークシート
8	12月10日	講義・演習	マーケティングについて学ぶ	ワークシート
9	12月17日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
10	1月7日	講義・演習	冬休みの過ごし方・2年生への準備について・アクティビティ	ワークシート
11	1月14日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
12	1月21日	講義・演習	年金・保険について学ぶ	ワークシート
13	1月28日	講義・演習	卒業後の音楽活動について考える	ワークシート
14	2月11日	講義・演習	イベントを通じて企画力やプレゼンテーションについて学ぶ	イベント開催の準備・チームミーティングを時間外学習とする
15	2月18日	講義・演習	イベントを通じて企画力やプレゼンテーションについて学ぶ	イベント開催の準備・チームミーティングを時間外学習とする
準備学習 時間外学習			毎週渡されるワークシートを用いて学習する	
【使用教科書・教材・参考書】				
ワークシート				

科目名	Expression A(1) Dr Control Theory(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	星山哲也
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ルーディメンツを通してドラマーとして必要なスティックコントロールを身につける。 ドラムを演奏する全ての科目でのテクニックの上達。 ドラムを演奏するにあたり音色、ダイナミクス等を無意識にコントロール出来るようになる。						
到達目標	それぞれのエクササイズを丁寧に練習し、無駄のないスティックコントロールを身につけることを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・演習	グリップ&フォーム、フィンガーコントロール	ワークシート・時間外でのパッド練習
2	5月25日	講義・演習	フットワーク	ワークシート・時間外でのパッド練習
3	6月1日	講義・演習	アクセレーションコントロール16分音符 3種類	ワークシート・時間外でのパッド練習
4	6月8日	講義・演習	アクセレーションコントロール3連符 2種類	ワークシート・時間外でのパッド練習
5	6月15日	講義・演習	ダブルストロークロール	ワークシート・時間外でのパッド練習
6	6月22日	講義・演習	5.7.9.11.13ストロークロール	ワークシート・時間外でのパッド練習
7	6月29日	講義・演習	バズ、バズ5、バズ7	ワークシート・時間外でのパッド練習
8	7月6日	講義・演習	シングルパラディドル	ワークシート・時間外でのパッド練習
9	7月13日	講義・演習	ダブルパラディドル、トリプルパラディドル	ワークシート・時間外でのパッド練習
10	7月20日	講義・演習	フラム、フラムアクセント16分&3連符	ワークシート・時間外でのパッド練習
11	7月27日	講義・演習	フラムパラディドル	ワークシート・時間外でのパッド練習
12	8月3日	講義・演習	フラムタップ、ラタマキュー	ワークシート・時間外でのパッド練習
13	8月17日	講義・演習	テスト	ワークシート・時間外でのパッド練習
14	8月24日	講義・演習	イベントでのステージ演奏 (実際のシチュエーションで演奏技術を学ぶ)	ワークシート・時間外でのパッド練習
15	8月31日	講義・演習	イベントでのステージ演奏 (実際のシチュエーションで演奏技術を学ぶ)	ワークシート・時間外でのパッド練習
準備学習 時間外学習			ワークシート・時間外でのパッド練習(1日30分程度)	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Expression A(2) Dr Control Theory(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	星山哲也
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ルーディメンツを通してドラマーとして必要なスティックコントロールや、連符感をやしない楽曲やソロでの自由度を身につける。ドラムを演奏する全ての科目でのテクニックの上達。 ドラムを演奏するにあたり音色、ダイナミクス等を無意識にコントロール出来るようになり、楽曲の中での自由度を広げて欲しい。						
到達目標	それぞれのエクササイズを丁寧に練習し、無駄のないスティックコントロールと連符感を身につけることを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	イベントでのステージ演奏 (実際のシチュエーションで演奏技術を学ぶ)	ワークシート・時間外でのパッド練習
2	10月12日	講義・演習	イベントでのステージ演奏 (実際のシチュエーションで演奏技術を学ぶ)	ワークシート・時間外でのパッド練習
3	10月19日	講義・演習	ラフ、4.5ストロークラフ	ワークシート・時間外でのパッド練習
4	11月9日	講義・演習	ドラッグ、シングルドラッグ、ダブルドラッグ	ワークシート・時間外でのパッド練習
5	11月16日	講義・演習	ドラッグパラダイドNo.1.2	ワークシート・時間外でのパッド練習
6	11月23日	講義・演習	ラタマキュー、シングルラタマキュー、ダブルラタマキュー、	ワークシート・時間外でのパッド練習
7	11月30日	講義・演習	ルーディメンツ総復習	ワークシート・時間外でのパッド練習
8	12月7日	講義・演習	チェンジアップ	ワークシート・時間外でのパッド練習
9	12月14日	講義・演習	2拍3連、カウント、コンビネーション	ワークシート・時間外でのパッド練習
10	12月21日	講義・演習	4拍3連、カウント、コンビネーション	ワークシート・時間外でのパッド練習
11	1月18日	講義・演習	3拍4連、カウント、コンビネーション	ワークシート・時間外でのパッド練習
12	1月25日	講義・演習	3拍4連on4/4	ワークシート・時間外でのパッド練習
13	2月1日	講義・演習	5拍4連、カウント、コンビネーション	ワークシート・時間外でのパッド練習
14	2月8日	講義・演習	7拍フレーズの紹介	ワークシート・時間外でのパッド練習
15	2月15日	講義・演習	テスト	ワークシート・時間外でのパッド練習
準備学習 時間外学習			ワークシート・時間外でのパッド練習(1日30分程度)	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Expression B(1) Ba Groove Analyze(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	遠藤敬三
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	現代音楽におけるスタンダードグルーヴの抽出とアナライズが主な内容で、その種類と手法を紹介し、体感することをテーマとする。ビートの感じ方に関する段階的なメニューを消化し、音楽的感性の成長に繋げる。スタンダード・ミディ・ファイルを使用し、授業にて体感させ目標とされる演奏基準に到達するためのトレーニング方、考え方、自己修正などを教授する。						
到達目標	ベースという楽器を通して音楽表現に関する体感を積み重ねることにより、スタンダードなリズムとフィールを習得する事を目的とする。各種トレーニングの消化や自発的研究活動の延長線上に、タイム感と音感の重要性を理解し、グルーヴに対する気づきが生まれる事が目標となる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月19日	講義・演習	グルーヴの重要性とスタンダード・ミディ・ファイルの取扱方法を説明する。	Chapter01の予習
2	5月26日	講義・演習	4分、8分休符とタイトを使用した時の違いを説明する。	Chapter01の復習とChapter02の予習
3	6月2日	講義・演習	4分、8分休符の体得する。(エクササイズ)	Chapter02の復習とChapter03の予習
4	6月9日	講義・演習	スタックカート、テヌート記号のグルーヴ的な違いを説明する。	Chapter03の復習とChapter04の予習
5	6月16日	講義・演習	スタックカートやテヌートを使用した時のグルーヴの違いを体得する。(エクササイズ)	Chapter04の復習とChapter05の予習
6	6月23日	講義・演習	アクセントの意味、シンコペーション記号の意味合いを説明する。	Chapter05の復習とChapter06の予習
7	6月30日	講義・演習	アクセント、シンコペーションを使用した時のグルーヴの違いを体得する。(エクササイズ)	Chapter06の復習とChapter07の予習
8	7月7日	講義・演習	音程の組み合わせによるリズム的な感じ方の違いを説明する。	Chapter07の復習とChapter08の予習
9	7月14日	講義・演習	音程の組み合わせによるリズム的な感じ方の違いを体得する。(エクササイズ)	Chapter08の復習とChapter09の予習
10	7月21日	講義・演習	基本的な8ビートパターンとパターンの作り方を説明する。	Chapter09の復習とChapter10の予習
11	7月28日	講義・演習	基本的な8ビートのパターンを実践する。(エクササイズ)	Chapter10の復習とChapter11の予習
12	8月25日	講義・演習	基本的な16ビートパターンとパターンの作り方を説明する。	Chapter11の復習とChapter12の予習
13	9月1日	講義・演習	基本的な16ビートのパターンを実践する。(エクササイズ)	Chapter12の復習とChapter13の予習
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通してベーステクニックを学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通してベーステクニックを学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			オリジナル教材の復習と予習を行う。	
【使用教科書・教材・参考書】				
Bass Groove Analyze (滋慶出版オリジナル教材)、SMF書類				

科目名	Expression B(2) Ba Groove Analyze(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	遠藤敬三
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	現代音楽におけるスタンダードグルーヴの抽出とアナライズが主な内容で、その種類と手法を紹介し、体感することをテーマとする。ビートの感じ方に関する段階的なメニューを消化し、音楽的感性の成長に繋げる。スタンダード・ミディ・ファイルを使用し、授業にて体感させ目標とされる演奏基準に到達するためのトレーニング方、考え方、自己修正などを教授する。						
到達目標	ベースという楽器を通して音楽表現に関する体感を積み重ねることにより、スタンダードなリズムとフィールを習得する事を目的とする。 各種トレーニングの消化や自発的研究活動の延長線上に、タイム感と音感の重要性を理解し、グルーヴに対する気付きが生まれる事が目標となる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	シャッフルビートのリズム的な捉え方とジャンルとの関係について説明する。	Chapter13の復習とChapter14の予習
2	10月13日	講義・演習	トリプレットフィールのリズムの捉え方と楽曲について説明する。	Chapter14の復習とChapter15の予習
3	10月20日	講義・演習	ハマーオンとブルオフの使用によるグルーヴ的な感じ方の違いを説明する。	Chapter15の復習とChapter16の予習
4	11月10日	講義・演習	ハマーオンとブルオフの使用によるグルーヴ的な感じ方の違いを体得する。	Chapter16の復習とChapter17の予習
5	11月17日	講義・演習	スライドダウン、スライドアップを使用によるグルーヴ的な感じ方の違いを説明する。	Chapter17の復習とChapter18の予習
6	11月24日	講義・演習	スライドダウン、アップを使用によるグルーヴ的な感じ方の違いを体得する。	Chapter18の復習とChapter19の予習
7	12月1日	講義・演習	16ビートにおけるシンコペーションパターンについて説明する。	Chapter19の復習とChapter20の予習
8	12月8日	講義・演習	16ビートにおけるシンコペーションパターンを実践する。(エクササイズ)	Chapter20の復習とChapter21の予習
9	12月15日	講義・演習	バウンス・ビートのリズム的な捉え方と基本的なパターンを説明する。	Chapter21の復習とChapter22の予習
10	12月22日	講義・演習	バウンス・ビートの基本的なパターンを実践する。(エクササイズ)	Chapter22の復習とChapter23の予習
11	1月12日	講義・演習	ゴーストノートを使用した時のグルーヴ的な違いを説明する。	Chapter23の復習とChapter24の予習
12	1月19日	講義・演習	ゴーストノートを使用した時のグルーヴ的な違いを実践する。(エクササイズ)	Chapter24の復習
13	1月26日	講義・演習	1年次の補足とまとめ	Chapter25の予習
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通してベーステクニックを学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通してベーステクニックを学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			オリジナル教材の復習と予習を行う。	
【使用教科書・教材・参考書】				
Bass Groove Analyze (滋慶出版オリジナル教材)、SMF書類				

科目名	SPL(1) SPL(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	梅村雄也
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	メロディー、リズム、ハーモニーについての理解を深めるため、様々なジャンルの音楽を通して演奏と理論を講義や演習で学ぶ						
到達目標	メロディーやハーモニーについての理解を深め、様々なジャンルを理解し、演奏するための基礎技術を習得す						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月19日	講義・演習	課題曲(1)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
2	5月26日	講義・演習	課題曲(1)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
3	6月2日	講義・演習	課題曲(2)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
4	6月9日	講義・演習	課題曲(2)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
5	6月16日	講義・演習	課題曲(2)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
6	6月23日	講義・演習	課題曲(3)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
7	6月30日	講義・演習	課題曲(3)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
8	7月7日	講義・演習	課題曲(4)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
9	7月14日	講義・演習	課題曲(4)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
10	7月21日	講義・演習	課題曲(5)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
11	7月28日	講義・演習	課題曲(5)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
12	8月25日	講義・演習	課題曲(6)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
13	9月1日	講義・演習	課題曲(6)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して楽器技術を学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通して楽器技術を学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
準備学習 時間外学習			講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習	
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナルテキスト				

科目名	SPL(1) Instrumental Study(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	梅村雄也
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	メロディー、リズム、ハーモニーについての理解を深めるため、様々なジャンルの音楽を通して演奏と理論を講義や演習で学ぶ						
到達目標	メロディーやハーモニーについての理解を深め、様々なジャンルを理解し、演奏するための基礎技術を習得する						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月19日	講義・演習	課題曲(1)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
2	5月26日	講義・演習	課題曲(1)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
3	6月2日	講義・演習	課題曲(2)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
4	6月9日	講義・演習	課題曲(2)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
5	6月16日	講義・演習	課題曲(2)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
6	6月23日	講義・演習	課題曲(3)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
7	6月30日	講義・演習	課題曲(3)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
8	7月7日	講義・演習	課題曲(4)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
9	7月14日	講義・演習	課題曲(4)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
10	7月21日	講義・演習	課題曲(5)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
11	7月28日	講義・演習	課題曲(5)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
12	8月25日	講義・演習	課題曲(6)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
13	9月1日	講義・演習	課題曲(6)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して楽器技術を学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通して楽器技術を学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
準備学習 時間外学習			講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習	
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナルテキスト				

科目名	SPL(2) SPL(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	梅村雄也
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	メロディー、リズム、ハーモニーについての理解を深めるため、様々なジャンルの音楽を通して演奏と理論を講義や演習で学ぶ						
到達目標	メロディーやハーモニーについての理解を深め、様々なジャンルを理解し、演奏するための基礎技術を習得する						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	課題曲(7)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
2	10月13日	講義・演習	課題曲(7)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
3	10月20日	講義・演習	課題曲(8)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
4	11月10日	講義・演習	課題曲(8)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
5	11月17日	講義・演習	課題曲(9)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
6	11月24日	講義・演習	課題曲(9)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
7	12月1日	講義・演習	課題曲(9)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
8	12月8日	講義・演習	課題曲(10)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
9	12月15日	講義・演習	課題曲(10)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
10	12月22日	講義・演習	課題曲(11)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
11	1月12日	講義・演習	課題曲(11)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
12	1月19日	講義・演習	課題曲(12)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
13	1月26日	講義・演習	課題曲(12)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して楽器技術を学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して楽器技術を学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
準備学習 時間外学習			講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習	
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナルテキスト				

科目名	SPL(2) Instrumental Study(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	梅村雄也
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	メロディー、リズム、ハーモニーについての理解を深めるため、様々なジャンルの音楽を通して演奏と理論を講義や演習で学ぶ						
到達目標	メロディーやハーモニーについての理解を深め、様々なジャンルを理解し、演奏するための基礎技術を習得する						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	課題曲(7)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
2	10月13日	講義・演習	課題曲(7)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
3	10月20日	講義・演習	課題曲(8)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
4	11月10日	講義・演習	課題曲(8)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
5	11月17日	講義・演習	課題曲(9)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
6	11月24日	講義・演習	課題曲(9)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
7	12月1日	講義・演習	課題曲(9)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
8	12月8日	講義・演習	課題曲(10)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
9	12月15日	講義・演習	課題曲(10)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
10	12月22日	講義・演習	課題曲(11)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
11	1月12日	講義・演習	課題曲(11)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
12	1月19日	講義・演習	課題曲(12)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
13	1月26日	講義・演習	課題曲(12)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して楽器技術を学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して楽器技術を学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
準備学習 時間外学習			講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習	
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナルテキスト				

科目名	Band Ensemble A(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 渡辺敬子 奥出矢 清水賢治 渡辺裕太 鈴木克弘 西涼子 長谷川開
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	Playing Style Analysis 授業(楽曲の演奏についての解説)と連動し、本授業では主に教室におけるアンサンブル演習を行う。後期 進級展、総復習発表会においては、本授業で学んだことを活かし、ライブハウスやホールでの演奏をイメージし、バンド単位での練習を積み、ライブ演奏を実践する。アンサンブル演奏と、対人関係における反応力や、コミュニケーション力を養う。					
到達目標	2週ごとに、2曲を1組とした、UNIT-1から、UNIT-11までの課題曲を演習する。講師から、他パートへのアドバイスも、プロデューサーやリーダーとなる観点を育む学びとする。課題曲の歌唱・演奏の習熟のみでなく、実践的なアンサンブルの場において必要な、コミュニケーション力・感性・対応力を育むことを目標とする。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月21日	講義・演習	アンサンブルの為の教室設営を学ぶ。 UNIT-1(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。	Playing Style Analysis 授業でのアナライズを踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
2	5月28日	講義・演習	UNIT-1(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。 適切な音量や音程で演奏できているか、自己評価する。	前回のアンサンブルでの録音または録画した、自らの歌唱・演奏を自己評価する。
3	6月4日	講義・演習	UNIT-2(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。 他のパートの演奏を聴き、積極的に反応する。	資料音源を聴き、他のパートと自分のパートとの、リズムやハーモニーの関係を理解する。
4	6月11日	講義・演習	UNIT-2(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。発声・演奏の、 発音タイミングでリズムが合っているか、自己評価する。	前回のアンサンブルでの録音または録画した、自らの歌唱・演奏が、他のパートのリズム・音程と調和しているか、自己評価する。
5	6月18日	講義・演習	UNIT-3(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。 曲の構成を理解しているか、自己評価する。	曲の構成(イントロや歌メロごとの小節数)を把握する為、 自分自身が見やすい歌詞または譜面を書き出す。
6	6月25日	講義・演習	UNIT-3(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。 楽曲の構成を暗譜する習慣をつける。	自分自身が見出し出した歌詞・譜面と資料音源や録音した 演奏で曲の構成を暗譜する。
7	7月2日	講義・演習	UNIT-4(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。 曲に適した音色選びや装飾表現を行う。	他の実技(ボイストレーニングやテクニック系)授業で学んだ 内容を、アンサンブルで活用する。
8	7月9日	講義・演習	UNIT-4(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。 曲に適した表現ができているか、自己評価する。	現在の自分が、思うようにできない事柄の習熟度を上げる 為の練習を行う。
9	7月16日	講義・演習	UNIT-5(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。 多様な音楽ジャンルの歌唱・演奏スタイルを実習する。	これまで接することのなかった音楽ジャンルを注意深く聴 き、その特徴を感じ取る。
10	7月30日	講義・演習	UNIT-5(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。より良いアンサ ンブルの為、演奏者同士のアイコンタクトを行う。	視点が自らの演奏のみに狭く留まらぬよう、事前の準備 や練習を行う。
11	8月6日	講義・演習	UNIT-6(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。 多様な音楽ジャンルの歌唱・演奏スタイルを実習する。	これまで接することのなかった音楽ジャンルを注意深く聴 き、その楽曲における自らのパートの役割を感じ取り、練 習する
12	8月20日	講義・演習	UNIT-6(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。曲に適した表 現ができているか、自己評価する。	課題曲に対する、自分自身の習熟度を自己評価し、次回 のアンサンブルの向上の為、練習する。
13	8月27日	講義・演習	UNIT-7(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。 多様な音楽ジャンルの歌唱・演奏スタイルを実習する。	これまで接することのなかった音楽ジャンルを注意深く聴 き、その楽曲における自らのパートの役割を感じ取り、 練習する
14	9月3日	講義・演習	イベントの実践を通してアンサンブルを学ぶ	楽曲の予習・復習
15	9月10日	講義・演習	イベントの実践を通してアンサンブルを学ぶ	楽曲の予習・復習
準備学習 時間外学習			Playing Style Analysis 授業を踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、歌詞や譜面を書き出し、実技練習に	
【使用教科書・教材・参考書】				
学校指定のサーバ内にアップされる資料音源とコード譜、アンサンブルでの自らの歌唱・演奏を録音または録画し、客観的に復習を行う為の携帯端末や iPad				

科目名	Band Ensemble A(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 渡辺敦子 奥出矢 清水賢治 渡辺裕太 鈴木克弘 西涼子 長谷山明
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	Playing Style Analysis 授業(楽曲の演奏についての解説)と連動し、本授業では主に教室におけるアンサンブル演習を行う。後期 進級展、総復習発表会においては、本授業で学んだことを活かし、ライブハウスやホールでの演奏をイメージし、バンド単位での練習を積み、ライブ演奏を実践する。アンサンブル演奏と、対人関係における反応力や、コミュニケーション力を養う。					
到達目標	2週ごとに、2曲を1組とした、UNIT-1から、UNIT-11までの課題曲を演習する。講師から、他パートへのアドバイスも、プロデューサーやリーダーとなる観点を育む学びとする。課題曲の歌唱・演奏の習熟のみでなく、実践的なアンサンブルの場において必要な、コミュニケーション力・感性・対応力を育むことを目標とする。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月21日	講義・演習	アンサンブルの為の教室設営を学ぶ。 UNIT-1(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。	Playing Style Analysis 授業でのアドバイスを踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。
2	5月28日	講義・演習	UNIT-1(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。 適切な音量や音程で演奏できているか、自己評価する。	前回のアンサンブルでの録音または録画した、自らの歌唱・演奏を自己評価する。
3	6月4日	講義・演習	UNIT-2(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。 他のパートの演奏を聴き、積極的に反応する。	資料音源を聴き、他のパートと自分のパートとの、リズムやハーモニーの関係を理解する。
4	6月11日	講義・演習	UNIT-2(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。発声・演奏の発音タイミングでリズムが合っているか、自己評価する。	前回のアンサンブルでの録音または録画した、自らの歌唱・演奏が、他のパートのリズム・音程と調和しているか、自己評価する。
5	6月18日	講義・演習	UNIT-3(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。 曲の構成を理解しているか、自己評価する。	曲の構成(イントロや歌メロごとの小節数)を把握する為、自分自身が見やすい歌詞または譜面を書き出す。
6	6月25日	講義・演習	UNIT-3(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。 楽曲の構成を暗譜する習慣をつける。	自分自身が見出し出した歌詞・譜面と資料音源や録音した演奏で曲の構成を暗譜する。
7	7月2日	講義・演習	UNIT-4(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。 曲に適した音色選びや装飾表現を行う。	他の実技(ボイストレーニングやテクニック系)授業で学んだ内容を、アンサンブルで活用する。
8	7月9日	講義・演習	UNIT-4(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。 曲に適した表現ができているか、自己評価する。	現在の自分が、思うようにできない事柄の習熟度を上げる為の練習を行う。
9	7月16日	講義・演習	UNIT-5(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。 多様な音楽ジャンルの歌唱・演奏スタイルを実習する。	これまで接することのなかった音楽ジャンルを注意深く聴き、その特徴を感じ取る。
10	7月30日	講義・演習	UNIT-5(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。より良いアンサンブルの為、演奏者同士のアイコンタクトを行う。	視点が自らの演奏のみに狭く留まらぬよう、事前の準備や練習を行う。
11	8月6日	講義・演習	UNIT-6(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。 多様な音楽ジャンルの歌唱・演奏スタイルを実習する。	これまで接することのなかった音楽ジャンルを注意深く聴き、その楽曲における自らのパートの役割を感じ取り、練習する。
12	8月20日	講義・演習	UNIT-6(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。曲に適した表現ができているか、自己評価する。	課題曲に対する、自分自身の習熟度を自己評価し、次回のアンサンブルの向上の為、練習する。
13	8月27日	講義・演習	UNIT-7(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。 多様な音楽ジャンルの歌唱・演奏スタイルを実習する。	これまで接することのなかった音楽ジャンルを注意深く聴き、その楽曲における自らのパートの役割を感じ取り、練習する。
14	9月3日	講義・演習	イベントの実践を通してアンサンブルを学ぶ	楽曲の予習・復習
15	9月10日	講義・演習	イベントの実践を通してアンサンブルを学ぶ	楽曲の予習・復習
準備学習 時間外学習			Playing Style Analysis 授業を踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、歌詞や譜面を書き出し、実技練習に	

【使用教科書・教材・参考書】

学校指定のサーバ内にアップされる資料音源とコード譜、アンサンブルでの自らの歌唱・演奏を録音または録画し、客観的に復習を行う為の携帯

科目名	Band Ensemble B(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 渡辺敦子 奥出矢 清水賢治 渡辺裕太 鈴木克弘 西涼子 長谷川
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	Playing Style Analysis 授業(楽曲の演奏についての解説)と連動し、本授業では主に教室におけるアンサンブル演習を行う。後期 進級展、総復習発表会においては、本授業で学んだことを活かし、ライブハウスやホールでの演奏をイメージし、バンド単位での練習を積み、ライブ演奏を実践する。 アンサンブル演奏と、対人関係における反応力や、コミュニケーション力を養う。					
到達目標	2週ごとに、2曲を1組とした、UNIT-1から、UNIT-11までの課題曲を演習する。 講師から、他パートへのアドバイスも、プロデューサーやリーダーとなる観点を育む学びとする。 課題曲の歌唱・演奏の習熟のみでなく、実践的なアンサンブルの場において必要な、 コミュニケーション力・感性・対応力を育むことを目標とする。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月8日	講義・演習	イベントの実践を通してアンサンブルを学ぶ	楽曲の予習・復習
2	10月15日	講義・演習	イベントの実践を通してアンサンブルを学ぶ	楽曲の予習・復習
3	11月5日	講義・演習	UNIT-7(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。曲に適した表現ができているか、自己評価する。	課題曲に対する、自分自身の習熟度を自己評価し、次のアンサンブルの向上の為、練習する。
4	11月12日	講義・演習	UNIT-8(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。曲のテーマやコード進行から、作曲者の意図を感じ取り、表現する。	曲の難易度が上がっても、これまで学んだ内容を振り返り、取り組む。
5	11月19日	講義・演習	進級展練習 楽曲を理解・表現する段階から、オーディエンスへ伝えることを目標とし、演習を行う。	担当する楽曲の構成や各パートの役割など、ライブで演奏することを前提に、練習する。
6	11月26日	講義・演習	進級展練習 楽曲を理解・表現する段階から、オーディエンスへ伝えることを目標とし、演習を行う。	これまでの授業で学んだ洋楽を生んだ文化や、国民性に触れ、今後の学びや成長の糧とする。
7	12月3日	講義・演習	UNIT-8(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。曲に適した表現ができているか、自己評価する。	前回のアンサンブルでの録音または録画した、自らの歌唱・演奏が、他のパートのリズム・音程と調和しているか、自己評価する。
8	12月10日	講義・演習	UNIT-9(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。より良いアンサンブルの為、他パートを積極的に聴く。	曲の難易度が上がっても、これまで学んだ内容を振り返り、取り組む。
9	12月17日	講義・演習	UNIT-9(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。より良いアンサンブルの為、他パートを積極的に聴く。	自分自身と、他パートを含めたバンド全体の向上の為、セルフプロデュースの観点から意見が述べられるよう、楽曲を理解する。
10	1月7日	講義・演習	進級展練習 教室での演奏ではあるが、ライブステージをイメージし、衣装やパフォーマンスも含めた演習を行う。	進級展本番に向け、衣装やパフォーマンスについても、楽曲メンバーでコミュニケーションを取り、準備を行う。
11	1月14日	講義・演習	UNIT-10(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。より良いアンサンブルの為、他パートを積極的に聴く。	視点が自らの演奏のみに狭く留まらぬよう、事前の準備や練習を行う。
12	1月21日	講義・演習	UNIT-10(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。オーディエンスへ伝えることをイメージし、演習を行う。	自分自身と、他パートを含めたバンド全体の向上の為、セルフプロデュースの観点から意見が述べられるよう、楽曲を理解する。
13	1月28日	講義・演習	UNIT-11(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。より良いアンサンブルの為、他パートを積極的に聴く。	視点が自らの演奏のみに狭く留まらぬよう、事前の準備や練習を行う。
14	2月11日	講義・演習	UNIT-11(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。オーディエンスへ伝えることをイメージし、演習を行う。	自分自身と、他パートを含めたバンド全体の向上の為、セルフプロデュースの観点から意見が述べられるよう、楽曲を理解する。
15	2月18日	講義・演習	総復習 年間を通して取り組んだ楽曲を演習する。	年間を通し学んだ内容を積極的に表現できるよう練習に取り組む。
準備学習 時間外学習			Playing Style Analysis 授業を踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、歌詞や譜面を書き出し、実技練習に	
【使用教科書・教材・参考書】				
学校指定のサーバ内にアップされる資料音源とコード譜、アンサンブルでの自らの歌唱・演奏を録音または録画し、客観的に復習を行う為、携帯				

科目名	Band Ensemble B(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 渡辺敦子 奥出矢 清水賢治 渡辺裕太 鈴木克弘 西涼子 長谷山剛
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	Playing Style Analysis 授業(楽曲の演奏についての解説)と連動し、本授業では主に教室におけるアンサンブル演習を行う。後期 進級展、総復習発表会においては、本授業で学んだことを活かし、ライブハウスやホールでの演奏をイメージし、バンド単位での練習を積み、ライブ演奏を実践する。アンサンブル演奏と、対人関係における反応力や、コミュニケーション力を養う。					
到達目標	2週ごとに、2曲を1組とした、UNIT-1から、UNIT-11までの課題曲を演習する。講師から、他パートへのアドバイスも、プロデューサーやリーダーとなる観点を育む学びとする。課題曲の歌唱・演奏の習熟のみでなく、実践的なアンサンブルの場において必要な、コミュニケーション力・感性・対応力を育むことを目標とする。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月8日	講義・演習	イベントの実践を通してアンサンブルを学ぶ	楽曲の予習・復習
2	10月15日	講義・演習	イベントの実践を通してアンサンブルを学ぶ	楽曲の予習・復習
3	11月5日	講義・演習	UNIT-7(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。曲に適した表現ができているか、自己評価する。	課題曲に対する、自分自身の習熟度を自己評価し、次のアンサンブルの向上の為、練習する。
4	11月12日	講義・演習	UNIT-8(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。曲のテーマやコード進行から、作曲者の意図を感じ取り、表現する。	曲の難易度が上がっても、これまで学んだ内容を振り返り、取り組む。
5	11月19日	講義・演習	進級展練習 楽曲を理解・表現する段階から、オーディエンスへ伝えることを目標とし、演習を行う。	担当する楽曲の構成や各パートの役割など、ライブで演奏することを前提に、練習する。
6	11月26日	講義・演習	進級展練習 楽曲を理解・表現する段階から、オーディエンスへ伝えることを目標とし、演習を行う。	これまでの授業で学んだ洋楽を生んだ文化や、国民性に触れ、今後の学びや成長の糧とする。
7	12月3日	講義・演習	UNIT-8(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。曲に適した表現ができているか、自己評価する。	前回のアンサンブルでの録音または録画した、自らの歌唱・演奏が、他のパートのリズム・音程と調和しているか、自己評価する。
8	12月10日	講義・演習	UNIT-9(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。より良いアンサンブルの為、他パートを積極的に聴く。	曲の難易度が上がっても、これまで学んだ内容を振り返り、取り組む。
9	12月17日	講義・演習	UNIT-9(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。より良いアンサンブルの為、他パートを積極的に聴く。	自分自身と、他パートを含めたバンド全体の向上の為、セルフプロデュースの観点から意見が述べられるよう、楽曲を理解する。
10	1月7日	講義・演習	進級展練習 教室での演奏ではあるが、ライブステージをイメージし、衣装やパフォーマンスも含めた演習を行う。	進級展本番に向け、衣装やパフォーマンスについても、楽曲メンバーでコミュニケーションを取り、準備を行う。
11	1月14日	講義・演習	UNIT-10(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。より良いアンサンブルの為、他パートを積極的に聴く。	視点が自らの演奏のみに狭く留まらぬよう、事前の準備や練習を行う。
12	1月21日	講義・演習	UNIT-10(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。オーディエンスへ伝えることをイメージし、演習を行う。	自分自身と、他パートを含めたバンド全体の向上の為、セルフプロデュースの観点から意見が述べられるよう、楽曲を理解する。
13	1月28日	講義・演習	UNIT-11(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。より良いアンサンブルの為、他パートを積極的に聴く。	視点が自らの演奏のみに狭く留まらぬよう、事前の準備や練習を行う。
14	2月11日	講義・演習	UNIT-11(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。オーディエンスへ伝えることをイメージし、演習を行う。	自分自身と、他パートを含めたバンド全体の向上の為、セルフプロデュースの観点から意見が述べられるよう、楽曲を理解する。
15	2月18日	講義・演習	総復習 年間を通して取り組んだ楽曲を演習する。	年間を通して学んだ内容を積極的に表現できるよう練習に取り組む。
準備学習 時間外学習			Playing Style Analysis 授業を踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、歌詞や譜面を書き出し、実技練習に	
【使用教科書・教材・参考書】				
学校指定のサーバ内にアップされる資料音源とコード譜、アンサンブルでの自らの歌唱・演奏を録音または録画し、客観的に復習を行う為、携帯端末や iPad				

科目名	Playing Style Analysis(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 奥 出矢 清水 賢治 渡辺 裕太 鈴木 克弘
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	本授業では Band Ensemble A で実習する楽曲の演奏についての解説を行う。 その課題曲で使用する機材や楽曲を構成する理論的知識についても、学ぶ。					
到達目標	2週ごとに、2曲を1組とした、UNIT-1から、UNIT-11までの課題曲を学ぶ。 各専攻パートにおける幅広い音楽ジャンルでの演奏表現力と対応力の習得を目的とする。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月21日	講義・演習	各パートにおけるアンサンブルに必要な知識の基礎を学ぶ。UNIT-1 課題曲2曲の解説を行う。	予習として資料を参照し、曲の構成や担当パートが何を演奏しているのか把握し、実技練習に取り組む。
2	5月28日	講義・演習	UNIT-2 課題曲2曲の解説を行う。 1960年代の楽曲の特徴を学ぶ。	資料を参照し、曲の構成や担当パートが何を演奏しているのか把握し、実技練習に取り組む。
3	6月4日	講義・演習	UNIT-2 課題曲2曲の解説を行う。 1960年代の楽曲の特徴を学ぶ。	資料を参照し、曲の構成や担当パートが何を演奏しているのか把握し、実技練習に取り組む。
4	6月11日	講義・演習	UNIT-3 課題曲2曲の解説を行う。 2000年代の楽曲の特徴を学ぶ。	資料を参照し、曲の構成や担当パートが何を演奏しているのか把握し、実技練習に取り組む。
5	6月18日	講義・演習	UNIT-3 課題曲2曲の解説を行う。 2000年代の楽曲の特徴を学ぶ。	資料を参照し、曲の構成や担当パートが何を演奏しているのか把握し、実技練習に取り組む。
6	6月25日	講義・演習	UNIT-4 課題曲2曲の解説を行う。 2010年代と1970年代の課題曲を学ぶ。	資料を参照し、曲の構成や担当パートが何を演奏しているのか把握し、実技練習に取り組む。
7	7月2日	講義・演習	UNIT-4 課題曲2曲の解説を行う。 2010年代と1970年代の課題曲を学ぶ。	資料を参照し、曲の構成や担当パートが何を演奏しているのか把握し、実技練習に取り組む。
8	7月9日	講義・演習	UNIT-5 課題曲2曲の解説を行う。 1990年代と2010年代の課題曲を学ぶ。	資料を参照し、曲の構成や担当パートが何を演奏しているのか把握し、実技練習に取り組む。
9	7月16日	講義・演習	UNIT-5 課題曲2曲の解説を行う。 1990年代と2010年代の課題曲を学ぶ。	資料を参照し、曲の構成や担当パートが何を演奏しているのか把握し、実技練習に取り組む。
10	7月30日	講義・演習	UNIT-6 課題曲2曲の解説を行う。 2010年代と1980年代の課題曲を学ぶ。	資料を参照し、曲の構成や担当パートが何を演奏しているのか把握し、実技練習に取り組む。
11	8月6日	講義・演習	UNIT-6 課題曲2曲の解説を行う。 2010年代と1980年代の課題曲を学ぶ。	資料を参照し、曲の構成や担当パートが何を演奏しているのか把握し、実技練習に取り組む。
12	8月20日	講義・演習	UNIT-7 課題曲2曲の解説を行う。 リメイクされた課題曲を学ぶ。	資料を参照し、曲の構成や担当パートが何を演奏しているのか把握し、実技練習に取り組む。
13	8月27日	講義・演習	UNIT-7 課題曲2曲の解説を行う。 リメイクされた課題曲を学ぶ。	資料を参照し、曲の構成や担当パートが何を演奏しているのか把握し、実技練習に取り組む。
14	9月3日	講義・演習	イベントの実践を通してアンサンブルを学ぶ	楽曲の練習を一日最低3時間行う
15	9月10日	講義・演習	イベントの実践を通してアンサンブルを学ぶ	楽曲の練習を一日最低4時間行う
準備学習 時間外学習		予習として資料を参照し、曲の構成や担当パートが何を演奏しているのか把握し、実技練習に取り組む。		
【使用教科書・教材・参考書】				
学校指定のサーバ内にアップされる資料音源とコード譜、自らの演奏(許可があれば担当講師の演奏)を録音または録画し、予習・復習を行う為の携帯端末や iPad				

科目名	Playing Style Analysis(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 奥 出矢 清水 賢治 渡辺 裕太 鈴木 克弘
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	本授業では Band Ensemble A で実習する楽曲の演奏についての解説を行う。その課題曲で使用する機材や楽曲を構成する理論的知識についても、学ぶ。					
到達目標	2週ごとに、2曲を1組とした、UNIT-1から、UNIT-11までの課題曲を学ぶ。 各専攻パートにおける幅広い音楽ジャンルでの演奏表現力と対応力の習得を目的とする。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月8日	講義・演習	イベントの実践を通してアンサンブルを学ぶ	楽曲の練習を一日最低3時間行う
2	10月15日	講義・演習	イベントの実践を通してアンサンブルを学ぶ	楽曲の練習を一日最低3時間行う
3	11月5日	講義・演習	UNIT-8 課題曲2曲の解説を行う。 多様な音楽ジャンルの演奏スタイルを学ぶ。	資料を参照し、曲の構成や担当パートが何を演奏しているのか把握し、自分自身は、どのように表現するかを考え、実技練習に取り組む。
4	11月12日	講義・演習	UNIT-8 課題曲2曲の解説を行う。 多様な音楽ジャンルの演奏スタイルを学ぶ。	資料を参照し、曲の構成や担当パートが何を演奏しているのか把握し、自分自身は、どのように表現するかを考え、実技練習に取り組む。
5	11月19日	講義・演習	進級展で演奏する楽曲について、要点の解説と演習を行う。	資料を参照し、曲の構成や担当パートが何を演奏しているのか把握し、自分自身は、どのように表現するかを考え、実技練習に取り組む。
6	11月26日	講義・演習	進級展で演奏する楽曲について、要点の解説と演習を行う。	資料を参照し、曲の構成や担当パートが何を演奏しているのか把握し、自分自身は、どのように表現するかを考え、実技練習に取り組む。
7	12月3日	講義・演習	UNIT-9 課題曲2曲の解説を行う。 多様な音楽ジャンルの演奏スタイルを学ぶ。	資料を参照し、曲の構成や担当パートが何を演奏しているのか把握し、自分自身は、どのように表現するかを考え、実技練習に取り組む。
8	12月10日	講義・演習	UNIT-9 課題曲2曲の解説を行う。 多様な音楽ジャンルの演奏スタイルを学ぶ。	資料を参照し、曲の構成や担当パートが何を演奏しているのか把握し、自分自身は、どのように表現するかを考え、実技練習に取り組む。
9	12月17日	講義・演習	UNIT-10 課題曲2曲の解説を行う。 多様な音楽ジャンルの演奏スタイルを学ぶ。	資料を参照し、曲の構成や担当パートが何を演奏しているのか把握し、自分自身は、どのように表現するかを考え、実技練習に取り組む。
10	1月7日	講義・演習	進級展で演奏する楽曲について、アレンジの確認など、演習を行う。	資料を参照し、曲の構成や担当パートが何を演奏しているのか把握し、自分自身は、どのように表現するかを考え、実技練習に取り組む。
11	1月14日	講義・演習	UNIT-10 課題曲2曲の解説を行う。 多様な音楽ジャンルの演奏スタイルを学ぶ。	資料を参照し、曲の構成や担当パートが何を演奏しているのか把握し、自分自身は、どのように表現するかを考え、実技練習に取り組む。
12	1月21日	講義・演習	UNIT-11 課題曲2曲の解説を行う。 多様な音楽ジャンルの演奏スタイルを学ぶ。	資料を参照し、曲の構成や担当パートが何を演奏しているのか把握し、自分自身は、どのように表現するかを考え、実技練習に取り組む。
13	1月28日	講義・演習	UNIT-11 課題曲2曲の解説を行う。 多様な音楽ジャンルの演奏スタイルを学ぶ。	資料を参照し、曲の構成や担当パートが何を演奏しているのか把握し、自分自身は、どのように表現するかを考え、実技練習に取り組む。
14	2月11日	講義・演習	年間を通して演習を行った、UNIT-1～11 課題曲の復習を行う。	資料を参照し、曲の構成や担当パートが何を演奏しているのか把握し、自分自身は、どのように表現するかを考え、実技練習に取り組む。
15	2月18日	講義・演習	イベントの実践を通してアンサンブルを学ぶ	楽曲の予習・復習
準備学習 時間外学習		各自として資料を参照し、曲の構成や担当パートが何を演奏しているのか把握し、実技練習に取り組む。		
【使用教科書・教材・参考書】				
学校指定のサーバ内にアップされる資料音源とコード譜、自らの演奏(許可があれば担当講師の演奏)を録音または録画し、予習・復習を行う為、携帯端末や iPad				

科目名	New Generation Ensemble(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 遠藤敬三 高橋和久 城石真臣 力石理江
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	各楽器のアナライズ後、全体でアンサンブル					
到達目標	J-POPを通してリズム及びFeelを理解させる					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月19日	講義・演習	8beat/楽曲への理解・技術力を学ぶ	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
2	5月26日	講義・演習	8beat/他パートとのバランス感覚を身につける	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
3	6月2日	講義・演習	8beat/他パートとのバランス感覚を身につける	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
4	6月9日	講義・演習	R&R基本スタイル/楽曲への理解・技術力を学ぶ	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
5	6月16日	講義・演習	R&R基本スタイル/他パートとのバランス感覚を身につける	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
6	6月23日	講義・演習	8分シンコペ AcG/楽曲への理解・技術力を学ぶ	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
7	6月30日	講義・演習	8分シンコペ AcG/他パートとのバランス感覚を身につける	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
8	7月7日	講義・演習	リフもの HalfRhythmの理解・技術力学ぶ	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
9	7月14日	講義・演習	リフもの HalfRhythm他パートとのバランス感覚を身につける	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
10	7月21日	講義・演習	16beatハネ/楽曲への理解・技術力を学ぶ	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
11	7月28日	講義・演習	16beatハネ/他パートとのバランス感覚を身につける	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
12	8月25日	講義・演習	DiscoBeat/楽曲への理解・技術力を学ぶ	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
13	9月1日	講義・演習	DiscoBeat/他パートとのバランス感覚を身につける	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
14	9月8日	講義・演習	イベントの実践を通してアンサンブルを学ぶ	楽曲の予習・復習
15	9月15日	講義・演習	今までアンサンブルした曲からランダムに演奏	楽曲の予習・復習
準備学習 時間外学習			事前に配布される資料の予習を行う。授業で学んだことを復習し、次の授業に備える。1日1時間程度。	
【使用教科書・教材・参考書】				
ストレージにアップしてある楽曲音源・譜面を確認				

科目名	New Generation Ensemble(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 遠藤敬三 高橋和久 城石真臣 力石理江
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	各楽器のアナライズ後、全体でアンサンブル					
到達目標	J-POPを通してリズム及びFeelを理解させる					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	イベントの実践を通してアンサンブルを学ぶ	楽曲の予習・復習
2	10月13日	講義・演習	イベントの実践を通してアンサンブルを学ぶ	楽曲の予習・復習
3	10月20日	講義・演習	16beat/リフもの/楽曲への理解・技術力を学ぶ	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
4	11月10日	講義・演習	16beat/リフもの/他パートとのバランス感覚を身につける	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
5	11月17日	講義・演習	16BeatRock/楽曲への理解・技術力を学ぶ	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
6	11月24日	講義・演習	16BeatRock/他パートとのバランス感覚を身につける	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
7	12月1日	講義・演習	Ballad/楽曲への理解・技術力を学ぶ	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
8	12月8日	講義・演習	Ballad/他パートとのバランス感覚を身につける	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
9	12月15日	講義・演習	16Beat/楽曲への理解・技術力を学ぶ	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
10	12月22日	講義・演習	16Beat/他パートとのバランス感覚を身につける	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
11	1月12日	講義・演習	Motown/楽曲への理解・技術力を学ぶ	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
12	1月19日	講義・演習	Motown/他パートとのバランス感覚を身につける	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
13	1月26日	講義・演習	neo soul/楽曲への理解・技術力を学ぶ	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
14	2月9日	講義・演習	neo soul/他パートとのバランス感覚を身につける	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
15	2月16日	講義・演習	今までアンサンブルした曲からランダムに演奏	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
準備学習 時間外学習			事前に配布される資料の予習を行う。授業で学んだことを復習し、次の授業に備える。1日1時間程度。	
【使用教科書・教材・参考書】				
ストレージにアップしてある楽曲音源・譜面を確認				

科目名	Hard Rock Café Project(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	梅村雄也
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	TSM在校生が、LIVEを”Business”として展開できるように実際にシチュエーションで体感し、学ぶ。 学生たちが宣伝・集客活動、ストーリー性のあるセットリスト、ライブパフォーマンスを学びながら、実践することが目的。						
到達目標	アンサンブル能力、演奏技術を深めつつ、集客マーケティングを行うことにより、 プロミュージシャンとして必要な総合的な技術・知識を得る。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月20日	講義・演習	オリエンテーション、授業内容説明	課題曲の準備と授業時間外での練習
2	5月27日	講義・演習	課題曲1 アンサンブルを通し、演奏技術、 コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
3	6月3日	講義・演習	課題曲2 アンサンブルを通し、演奏技術、 コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
4	6月10日	講義・演習	課題曲3 アンサンブルを通し、演奏技術、 コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
5	6月17日	講義・演習	オーディション対策を通して、 演奏技術・パフォーマンス技術を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
6	6月24日	講義・演習	オーディション対策を通して、 演奏技術・パフォーマンス技術を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
7	7月1日	講義・演習	自由課題曲1 アンサンブルを通し、演奏技術、 コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
8	7月8日	講義・演習	自由課題曲2 アンサンブルを通し、演奏技術、 コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
9	7月15日	講義・演習	自由課題曲3 アンサンブルを通し、演奏技術、 コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
10	7月22日	講義・演習	自由課題曲4 アンサンブルを通し、演奏技術、 コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
11	7月29日	講義・演習	自由課題曲5 アンサンブルを通し、演奏技術、 コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
12	8月5日	講義・演習	自由課題曲6 アンサンブルを通し、演奏技術、 コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
13	8月19日	講義・演習	自由課題曲7 アンサンブルを通し、演奏技術、 コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
14	8月26日	講義・演習	イベントを通じてステージ上でのアンサンブル技術を学ぶ	イベントでの演奏に向けた準備と課題曲練習
15	9月2日	講義・演習	イベントを通じてステージ上でのアンサンブル技術を学ぶ	イベントでの演奏に向けた準備と課題曲練習
準備学習 時間外学習			個人練習と課題曲の練習とアーティストについての考察	
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナルテキスト、楽器、iPadもしくはパソコン				

科目名	Hard Rock Café Project(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	梅村雄也
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	TSM在校生が、LIVEを”Business”として展開できるように実際にシチュエーションで体感し、学ぶ。 学生たちが宣伝・集客活動、ストーリー性のあるセットリスト、ライブパフォーマンスを学びながら、実践することが目的。						
到達目標	アンサンブル能力、演奏技術を深めつつ、集客マーケティングを行うことにより、 プロミュージシャンとして必要な総合的な技術・知識を得る。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	ライブパフォーマンス、ステージングについて学ぶ	課題曲の準備と授業時間外での練習
2	10月14日	講義・演習	ライブパフォーマンス、ステージングについて学ぶ	課題曲の準備と授業時間外での練習
3	10月21日	講義・演習	自由課題曲7 アンサンブルを通し、演奏技術、 コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
4	11月11日	講義・演習	自由課題曲8 アンサンブルを通し、演奏技術、 コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
5	11月18日	講義・演習	自由課題曲9 アンサンブルを通し、演奏技術、 コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
6	11月25日	講義・演習	自由課題曲10 アンサンブルを通し、演奏技術、 コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
7	12月2日	講義・演習	自由課題曲11 アンサンブルを通し、演奏技術、 コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
8	12月9日	講義・演習	自由課題曲12 アンサンブルを通し、演奏技術、 コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
9	12月16日	講義・演習	自由課題曲13 アンサンブルを通し、演奏技術、 コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
10	1月6日	講義・演習	自由課題曲14 アンサンブルを通し、演奏技術、 コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
11	1月13日	講義・演習	自由課題曲15 アンサンブルを通し、演奏技術、 コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
12	1月20日	講義・演習	自由課題曲16 アンサンブルを通し、演奏技術、 コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
13	1月27日	講義・演習	自由課題曲17 アンサンブルを通し、演奏技術、 コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
14	2月10日	講義・演習	イベントを通じてステージ上でのアンサンブル技術を学ぶ	イベントでの演奏に向けた準備と課題曲練習
15	2月17日	講義・演習	イベントを通じてステージ上でのアンサンブル技術を学ぶ	イベントでの演奏に向けた準備と課題曲練習
準備学習 時間外学習			個人練習と課題曲の練習とアーティストについての考察	
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナルテキスト、楽器、iPadもしくはパソコン				

科目名	Berklee Ensemble(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	宮地遼
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	課題曲を選定し、ブルース、ジャズ、ラテン、ポップスなど多くのジャンルの楽曲を通し、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。						
到達目標	パークリー音楽大学の試験対策を目的とし、多くのジャンルでの演奏技術・アンサンブル知識を習得することを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月19日	講義・演習	課題曲1を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲の分析と復習
2	5月26日	講義・演習	課題曲2を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲の分析と復習
3	6月2日	講義・演習	課題曲3を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲の分析と復習
4	6月9日	講義・演習	課題曲4を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲の分析と復習
5	6月16日	講義・演習	課題曲5を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲の分析と復習
6	6月23日	講義・演習	課題曲6を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲の分析と復習
7	6月30日	講義・演習	課題曲7を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲の分析と復習
8	7月7日	講義・演習	課題曲8を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲の分析と復習
9	7月14日	講義・演習	課題曲9を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲の分析と復習
10	7月21日	講義・演習	課題曲10を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲の分析と復習
11	7月28日	講義・演習	課題曲11を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲の分析と復習
12	8月4日	講義・演習	課題曲12を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲の分析と復習
13	8月18日	講義・演習	課題曲13を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲の分析と復習
14	8月25日	講義・演習	課題曲14を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲の分析と復習
15	9月1日	講義・演習	前期テスト・総復習	課題曲の分析と復習
準備学習 時間外学習			課題曲の分析と復習	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Berklee Ensemble(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	宮地遼
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	課題曲を選定し、ブルース、ジャズ、ラテン、ポップスなど多くのジャンルの楽曲を通し、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。						
到達目標	パーカー音楽大学の試験対策を目的とし、多くのジャンルでの演奏技術・アンサンブル知識を習得することを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	課題曲15を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲のアナライズと復習
2	10月13日	講義・演習	課題曲16を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲のアナライズと復習
3	10月20日	講義・演習	課題曲17を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲のアナライズと復習
4	11月10日	講義・演習	課題曲18を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲のアナライズと復習
5	11月17日	講義・演習	課題曲19を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲のアナライズと復習
6	11月24日	講義・演習	課題曲20を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲のアナライズと復習
7	12月1日	講義・演習	課題曲21を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲のアナライズと復習
8	12月8日	講義・演習	課題曲22を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲のアナライズと復習
9	12月15日	講義・演習	課題曲23を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲のアナライズと復習
10	12月22日	講義・演習	課題曲24を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲のアナライズと復習
11	1月12日	講義・演習	課題曲25を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲のアナライズと復習
12	1月19日	講義・演習	課題曲26を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲のアナライズと復習
13	1月26日	講義・演習	課題曲27を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲のアナライズと復習
14	2月9日	講義・演習	課題曲28を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲のアナライズと復習
15	2月16日	講義・演習	後期テスト・総復習	課題曲のアナライズと復習
準備学習 時間外学習			課題曲のアナライズと復習	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Creative Profession(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	梅村雄也
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	国際性のあるプロミュージシャンとして必要な「身構え」「気構え」「心構え」を学び、コミュニケーション能力、思考力、協調性、勤労観、職業観などを身につけます。						
到達目標	授業を通してチームワークでの作業や、将来設計を学び、留学後の音楽活動とエンターテインメント業界の国際視野を広げる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月21日	講義・演習	教室の使用方法・ITリテラシー・仲間作りのアクティビティ	ワークシート
2	5月28日	講義・演習	生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
3	6月4日	講義・演習	音楽業界について学ぶ・アクティビティ	ワークシート
4	6月11日	講義・演習	生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
5	6月18日	講義・演習	オーディションシートの作成	ワークシート
6	6月25日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
7	7月2日	講義・演習	職業紹介・アクティビティ	ワークシート
8	7月9日	講義・演習	セッティング図を学ぶ・アクティビティ	ワークシート
9	7月16日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
10	7月30日	講義・演習	ビジネス講座・アクティビティ	ワークシート
11	8月6日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
12	8月20日	講義・演習	ビジョンと目的について学ぶ・アクティビティ	ワークシート
13	8月27日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
14	9月3日	講義・演習	イベントを通じて企画力やプレゼンテーションについて学ぶ	イベント開催の準備・チームミーティングを時間外学習とする
15	9月10日	講義・演習	イベントを通じて企画力やプレゼンテーションについて学ぶ	イベント開催の準備・チームミーティングを時間外学習とする
準備学習 時間外学習			毎週渡されるワークシートを用いて学習する	
【使用教科書・教材・参考書】				
ワークシート				

科目名	Creative Profession(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	梅村雄也
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	国際性のあるプロミュージシャンとして必要な「身構え」「気構え」「心構え」を学び、コミュニケーション能力、思考力、協調性、勤労観、職業観などを身につけます。						
到達目標	授業を通してチームワークでの作業や、将来設計を学び、留学後の音楽活動とエンターテインメント業界の国際視野を広げる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月8日	講義・演習	後期の過ごし方について・アクティビティ	ワークシート
2	10月15日	講義・演習	生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
3	11月5日	講義・演習	新人発掘プレゼンテーションについて・アクティビティ	ワークシート
4	11月12日	講義・演習	生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
5	11月19日	講義・演習	オーディション対策	ワークシート
6	11月26日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
7	12月3日	講義・演習	ビジョンと目的目標の再確認・アクティビティ	ワークシート
8	12月10日	講義・演習	セッティング図を学ぶ・アクティビティ	ワークシート
9	12月17日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
10	1月7日	講義・演習	冬休みの過ごし方・2年生への準備について・アクティビティ	ワークシート
11	1月14日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
12	1月21日	講義・演習	SNSについて学ぶ・アクティビティ	ワークシート
13	1月28日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
14	2月11日	講義・演習	イベントを通じて企画力やプレゼンテーションについて学ぶ	イベント開催の準備・チームミーティングを時間外学習とする
15	2月18日	講義・演習	イベントを通じて企画力やプレゼンテーションについて学ぶ	イベント開催の準備・チームミーティングを時間外学習とする
準備学習 時間外学習			毎週渡されるワークシートを用いて学習する	
【使用教科書・教材・参考書】				
ワークシート				

科目名	Global Communication(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	Paul Searle
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	外国人を前に怖がったり恥ずかしがったりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	英語で挨拶したり、自分の言いたいことを伝え、相手の言っていることを理解するなど、日常の場面で簡単な英語コミュニケーションが出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・演習	挨拶が出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 1
2	5月25日	講義・演習	個人の情報を聞きだすことが出来るようになる もう一度言ってもらえるようお願い出来る	オンラインプラクティス Unit 3
3	6月3日	講義・演習	好き嫌いを表現出来るようになる 相手に質問で返すことが出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 6
4	6月8日	講義・演習	相手に意見を聞く事、伝える事が出来るようになる 誘いに返答する事が出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 8
5	6月15日	講義・演習	相手について褒める事が出来るようになる 褒め言葉に対して返答出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 11
6	6月22日	講義・演習	時間について尋ねる事、伝達する事が出来るようになる 日常生活について尋ね、説明する事が出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 7 & 13
7	6月29日	講義・演習	継続して質問する事が出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 14
8	7月8日	講義・演習	場所について質問、説明する事、道案内ができるようになる。 明確な説明をお願い出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 19&20
9	7月13日	講義・演習	頻度について質問、説明することが出来るようになる 値段について質問、説明することが出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 21&23
10	7月20日	講義・演習	食べ物について質問、食べ物を説明出来るようになる レストランで注文出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 28
11	7月27日	講義・演習	過去のことについて質問ができるようになる 過去のことを説明出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 29&30
12	8月3日	講義・演習	将来のことについて質問ができるようになる 将来のことを説明出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 32
13	8月17日	講義・演習	復習	復習オンラインプラクティス
14	8月24日	講義・演習	定期試験	定期試験の復習
15	8月31日	講義・演習	振り返り	前回までの内容の確認
準備学習 時間外学習			自宅で教科書に付随するオンラインプラクティスの内容を活用し、予習・復習を行うこと。	
【使用教科書・教材・参考書】				
Speak Now 1				

科目名	Global Communication(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	Paul Searle
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	外国人を前に怖がったり恥ずかしがったりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	英語で挨拶したり、自分の言いたいことを伝え、相手の言っていることを理解するなど、日常の場面で簡単な英語コミュニケーションが出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	挨拶が出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 1
2	10月12日	講義・演習	個人の情報を聞きだす事が出来るようになる もう一度言ってもらえるようお願い出来る	オンラインプラクティス Unit 3
3	10月19日	講義・演習	好き嫌いを表現出来るようになる 相手に質問で返す事が出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 6
4	11月4日	講義・演習	相手に意見を聞く、伝える事が出来るようになる 誘いに返答する事が出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 8
5	11月16日	講義・演習	相手について褒める事が出来るようになる 褒め言葉に対して返答出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 11
6	11月23日	講義・演習	時間について尋ねる、伝達する事が出来るようになる 日常生活について尋ね、説明する事が出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 7 & 13
7	11月30日	講義・演習	継続して質問することが出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 14
8	12月7日	講義・演習	場所について質問、説明、道案内ができるようになる 明確な説明をお願い出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 19 & 20
9	12月14日	講義・演習	頻度について質問、説明する事が出来るようになる 値段について質問、説明する事が出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 21 & 23
10	12月21日	講義・演習	食べ物について質問、説明する事が出来るようになる レストランで注文出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 28
11	1月18日	講義・演習	過去のことについて質問ができるようになる 過去のことを説明出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 29 & 30
12	1月25日	講義・演習	将来のことについて質問ができるようになる 将来のことを説明出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 32
13	2月1日	講義・演習	復習	復習オンラインプラクティス
14	2月8日	講義・演習	定期試験	定期試験の復習
15	2月15日	講義・演習	振り返り	前回までの内容の確認
準備学習 時間外学習			自宅で教科書に付随するオンラインプラクティスの内容を活用し、予習・復習を行うこと。	
【使用教科書・教材・参考書】				
Speak Now 1				

科目名	音楽史(1)/History of Western Music	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	中町俊自
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習内容	音楽業界で活躍していく為には、深く歴史を知る必要がある。本講義では西洋音楽の歴史を学ぶ。						
到達目標	音楽業界で活躍していく為には、深く歴史を知る必要がある。本講義では西洋音楽の歴史を学び理解し説明ができるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・演習	アメリカの現代史と音楽ジャンルの説明ができる。	グレゴリアンチャント、チャーチモード、記譜法の復習レポート
2	5月25日	講義・演習	スコット・ジョップリン(1868-1917)の説明ができる。	中世の西洋音楽の復習レポート
3	6月1日	講義・演習	デューク・エリントン(1899-1974)の解説ができる。	ルネッサンス期の西洋音楽の復習レポート
4	6月8日	講義・演習	レイ・アームストロング(1901-1971) "ジャズ"について説明ができる。	ルネッサンス期の西洋音楽の復習レポート
5	6月15日	講義・演習	17世紀の西洋音楽の概要、技法、作曲家についての説明ができる。	17世紀の西洋音楽の復習レポート
6	6月22日	講義・演習	17世紀の西洋音楽の概要、技法、作曲家についての説明ができる。	17世紀の西洋音楽の復習レポート
7	6月29日	講義・演習	18世紀の西洋音楽の概要、技法、作曲家についての説明ができる。	18世紀の西洋音楽の復習レポート
8	7月6日	講義・演習	18世紀の西洋音楽の概要、技法、作曲家についての説明ができる。	18世紀の西洋音楽の復習レポート
9	7月13日	講義・演習	中間確認テスト	1~8回までの復習総括レポート
10	7月20日	講義・演習	19世紀の西洋音楽の概要、技法、作曲家の説明をすることができる。	19世紀の西洋音楽の復習レポート
11	7月27日	講義・演習	19世紀の西洋音楽の概要、技法、作曲家②の説明をすることができる。	19世紀の西洋音楽の復習レポート
12	8月3日	講義・演習	20世紀以降の西洋音楽の概要、技法、作曲家①の説明をすることができる。	20世紀の西洋音楽の復習レポート
13	8月17日	講義・演習	20世紀以降の西洋音楽の概要、技法、作曲家②の説明をすることができる。	20世紀の西洋音楽の復習レポート
14	8月24日	講義・演習	学期末試験、学期末課題の説明の説明をすることができる。	1~14回までの復習総括レポート
15	8月31日	講義・演習	学期末試験及び、学期末課題の発表・提出。	総復習総括レポート
準備学習 時間外学習		西洋音楽について各年代のレポートを作成する、準備復習研究時間として週4時間		
【使用教科書・教材・参考書】				
MUSIC HISTORY				

科目名	音楽史(2)/History of Rock and Popular Music	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	中町俊自
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習内容	音楽業界で活躍していく為には、深く歴史を知る必要がある。本講義ではロック&ポップスの歴史を学ぶ。						
到達目標	音楽業界で活躍していく為には、深く歴史を知る必要がある。本講義ではロック&ポップスの歴史を学び理解し説明ができるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	アメリカの現代史を説明できる。	アメリカの現代史と音楽ジャンルの復習レポートをまとめる。
2	10月12日	講義・演習	ロックミュージックのルーツを解説できる。	ロックミュージックの復習レポートをまとめる。
3	10月19日	講義・演習	ロックンロールの誕生について解説できる。	ロックンロールの復習レポートをまとめる。
4	11月9日	講義・演習	フォークミュージックの誕生とムーヴメントについて解説できる。	フォークミュージックの復習レポートをまとめる。
5	11月16日	講義・演習	ブリティッシュミュージックについて説明できる。	ブリティッシュ音楽の復習レポートをまとめる。
6	11月23日	講義・演習	The Beatlesについて説明できる。	ビートルズについて復習レポートをまとめる。
7	11月30日	講義・演習	モータウンレーベルの誕生について説明できる。	モータウンレーベルについての復習復習レポートをまとめる。
8	12月7日	講義・演習	中間確認テスト	1~7回の復習
9	12月14日	講義・演習	1960年代のアメリカ、フラワームーヴメントについて説明できる。	1960年代の音楽の研究復習レポートをまとめる。
10	12月21日	講義・演習	ハードロック、グラムロックについて説明できる。	グラムロックの研究復習レポートをまとめる。
11	1月18日	講義・演習	ハードロックのポピュラー化について説明できる。	ハードロックの復習レポートをまとめる。
12	1月25日	講義・演習	パンクミュージックについて説明できる。	パンク音楽の復習レポートにおこす。
13	2月1日	講義・演習	MTVについて80年代について説明できる。	MTV80年代の研究復習レポートにおこす。
14	2月8日	講義・演習	ハウスミュージックについてについて説明できる。	ハウスミュージックの復習レポートにおこす。
15	2月15日	講義・演習	学期末試験、学期末課題の発表・提出	1~14回の復習レポートにおこす。
準備学習 時間外学習			ロック&ポップスについて各年代のレポートを作成する、準備復習研究時間として週4時間	
【使用教科書・教材・参考書】				
MUSIC HISTORY				

科目名	音楽史(1)/History of Jazz in the 20th century	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	中町俊自
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習内容	音楽業界で活躍していく為には、深く歴史を知る必要がある。本講義ではジャズの歴史を学ぶ。						
到達目標	音楽業界で活躍していく為には、深く歴史を知る必要がある。本講義ではジャズの歴史を学び理解し説明ができるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・演習	アメリカの地理・歴史について説明ができる。	アメリカの地理・歴史の復習レポートをまとめる。
2	5月25日	講義・演習	19世紀のアメリカとその音楽。	19世紀のアメリカの復習レポートをまとめる。
3	6月1日	講義・演習	19世紀後半から20世紀のアメリカ社会について説明ができる。	19世紀後半から20世紀のアメリカ社会の復習レポートをまとめる。
4	6月8日	講義・演習	ニューオーリンズ・ジャズについて説明ができる。	ニューオーリンズ・ジャズの復習レポートをまとめる。
5	6月15日	講義・演習	スイング・ジャズとビッグバンドについて説明ができる。	スイング・ジャズとビッグバンドの復習レポートをまとめる。
6	6月22日	講義・演習	モダンジャズの始まりとしての"ビ・バップ"ミュージックについて説明ができる。	モダンジャズの始まりとしての"ビ・バップ"ミュージックの復習レポートをまとめる。
7	6月29日	講義・演習	ハードバップ、アフロキューバン、そしてウエストコースト・ジャズについて説明ができる。	ハードバップ、アフロキューバン、の復習レポートをまとめる。
8	7月6日	講義・演習	中間試験、及び中間課題の発表・提出。	1~7回の復習レポートをまとめる。
9	7月13日	講義・演習	モードジャズの始まりと発展について説明ができる。	モードジャズの復習レポートをまとめる。
10	7月20日	講義・演習	フリージャズと呼ばれる音楽とそのスタイルについて説明ができる。	フリージャズの復習レポートをまとめる。
11	7月27日	講義・演習	"ビ・バップ"の発展とミュージシャンの変化について説明ができる。	"ビ・バップ"の復習レポートをまとめる。
12	8月3日	講義・演習	ロック、ジャズそれぞれについて説明ができる。	ロックに影響されるジャズの復習レポートをまとめる。
13	8月17日	講義・演習	ジャズと世界の音楽の交流について説明ができる。	ジャズと世界の音楽の交流の復習レポートをまとめる。
14	8月24日	講義・演習	現代、現在のジャズについて説明ができる。	現代、現在のジャズの復習レポートをまとめる。
15	8月31日	講義・演習	期末試験及び、期末課題の発表・提出。	1~14回の復習レポートをまとめる。
準備学習 時間外学習		西洋音楽について各年代のレポートを作成する、準備復習研究時間として週4時間		
【使用教科書・教材・参考書】				
Music History				

科目名	音楽史(2)/Influential African American Composers	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	中町俊自
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習内容	音楽業界で活躍していく為には、深く歴史を知る必要がある。本講義ではアフロミュージックの歴史を学ぶ。						
到達目標	音楽業界で活躍していく為には、深く歴史を知る必要がある。本講義ではアフロミュージックの歴史を学び理解し説明ができるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	アメリカの現代史と音楽ジャンルの説明ができる。	アメリカの現代史と音楽ジャンルの復習レポートをまとめる。
2	10月12日	講義・演習	スコット・ジョップリン(1868-1917)の説明ができる。	スコット・ジョップリン(1868-1917)の復習レポートをまとめる。
3	10月19日	講義・演習	デューク・エリントン(1899-1974)の解説ができる。	デューク・エリントン(1899-1974)の復習レポートをまとめる。
4	11月9日	講義・演習	ルイ・アームストロング(1901-1971) "ジャズ"について説明できる。	ルイ・アームストロング(1901-1971)の復習レポートをまとめる。
5	11月16日	講義・演習	ロバート・ジョンソン(1911-1938) ロック、ブルースについて説明できる。	ロバート・ジョンソン(1911-1938)の復習レポートをまとめる。
6	11月23日	講義・演習	チャーリー・パーカー(1920-1955) インプロヴィゼーションについて解説できる。	チャーリー・パーカー(1920-1955)の復習レポートをまとめる。
7	11月30日	講義・演習	マイルス・デイヴィス(1926-1991)について解説できる。	マイルス・デイヴィス(1926-1991)の復習レポートをまとめる。
8	12月7日	講義・演習	その他のアフリカン-アメリカンアーティストについて説明ができる。	1~7回の復習レポートをまとめる。
9	12月14日	講義・演習	ジェイムス・ブラウン(1933-2006) ソウル、ファンクについて解説できる。	ジェイムス・ブラウン(1933-2006)の復習レポートをまとめる。
10	12月21日	講義・演習	クインシー・ジョーンズ(1933-) プロデューサーについて説明できる。	クインシー・ジョーンズ(1933-)の復習レポートをまとめる。
11	1月18日	講義・演習	ジミ・ヘンドリックス(1942-1970)について説明できる。	ジミ・ヘンドリックス(1942-1970)の復習レポートをまとめる。
12	1月25日	講義・演習	モータウン(1959-1994) ポップスについて解説できる。	モータウン(1959-1994)の研究復習レポートをまとめる。
13	2月1日	講義・演習	スティーヴィー・ワンダー(1950-) ソングライティングについて解説できる。	スティーヴィー・ワンダー(1950-)の研究
14	2月8日	講義・演習	マイケル・ジャクソン(1958-2009) モータウン、ポップスを解説できる。	マイケル・ジャクソン(1958-2009)の研究
15	2月15日	講義・演習	学期末試験、学期末課題の発表・提出	1~14回の復習
準備学習 時間外学習			アフロミュージックについて各年代のレポートを作成する、準備復習研究時間として週4時間	
【使用教科書・教材・参考書】				
MUSIC HISTORY				

科目名	ContemporaryMusicTheory(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	宮地遼
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽に関わる仕事現場において日常的に用いられる用語、記号、表記の方法について講義、ワークブックを通じて学ぶ。						
到達目標	現代において音楽に関わる仕事に就くために必須となるボキャブラリー、記号、表記方法を学び作業現場で円滑なコミュニケーションを可能にする素養を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月19日	講義・演習	音とは・鍵盤・音名・変化記号・五線・音部記号・譜表	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
2	5月26日	講義・演習	音符・休符・拍子・拍子記号	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
3	6月2日	講義・演習	曲の進行に関する記号等・略記法・速さや強さに関する記号・奏法に関する記号	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
4	6月9日	講義・演習	メジャー スケールと全音・半音	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
5	6月16日	講義・演習	マイナー スケール	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
6	6月23日	講義・演習	五度圏・調号・調関係	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
7	6月30日	講義・演習	インターバルの度数と名称	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
8	7月7日	講義・演習	転回・単音程・複音程・協和音程と不協和音程	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
9	7月14日	講義・演習	コードの定義・コード シンボル	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
10	7月21日	講義・演習	トライアドとその転回形	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
11	7月28日	講義・演習	セブンスコードとその転回形	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
12	8月4日	講義・演習	シックスコード・サスフォーコード	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
13	8月18日	講義・演習	ナチュラルテンションとその意味	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
14	8月25日	講義・演習	レビュー	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
15	9月1日	講義・演習	学期末試験	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
準備学習 時間外学習			テキスト、ワークブックを用いての予習・復習を中心とした自主学習。図書室に備えられている参考図書やiPadのアプリ等を利用した自主学習を行う。	
【使用教科書・教材・参考書】				
テキスト、ワークブック				

科目名	ContemporaryMusicTheory(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	宮地遼
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽に関わる仕事現場において日常的に用いられる用語、記号、表記の方法について講義、ワークブックを通じて学ぶ。						
到達目標	ContemporaryMusicTheory(1)で学んだ基本的な知識から踏み込んで、演奏者や制作者になるため、また彼らと密なコミュニケーションを可能にする素養を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	メジャー ダイアトニックコード	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
2	10月13日	講義・演習	ダイアトニックコードプログレッション・ケーデンス	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
3	10月20日	講義・演習	ダイアトニックコードのコード スケール	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
4	11月10日	講義・演習	プライマリードミナント・セカンダリードミナント	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
5	11月17日	講義・演習	セカンダリードミナントのコード スケール	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
6	11月24日	講義・演習	ディセプティブ リゾリューション	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
7	12月1日	講義・演習	ツー ファイブ・リレイティッドツーファイブとそのスケール	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
8	12月8日	講義・演習	ハーモニックリズム	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
9	12月15日	講義・演習	エクステンディドドミナント	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
10	12月22日	講義・演習	インターポレイティッド コード	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
11	1月12日	講義・演習	ナチュラル マイナー スケールのダイアトニックコードとその機能	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
12	1月19日	講義・演習	ハーモニック マイナー・メロディック マイナーのダイアトニックコード	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
13	1月26日	講義・演習	マイナー ダイアトニックコードのコード スケール	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
14	2月9日	講義・演習	レビュー	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
15	2月16日	講義・演習	学期末試験	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
準備学習 時間外学習			テキスト、ワークブックを用いての予習・復習を中心とした自主学習。図書室に備えられている参考図書やiPadのアプリ等を利用した自主学習を行う。	
【使用教科書・教材・参考書】				
テキスト、ワークブック				

科目名	Music Theory (1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	田村野史
学系・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていくためには、楽曲の分析やオリジナル作曲、アレンジの能力が必要となる。本講義では音楽理論の基礎から応用までをしっかりと理解し、実際に表現に繋げていけるよう学んで行く。						
到達目標	楽曲分析ができるようになり、実際にオリジナル作曲や楽曲アレンジができるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月20日	講義・演習	楽譜の歴史、五線譜、クレフ	五線譜の各部名称とクレフ、音名を復習する
2	5月22日	講義・演習	音名	五線に書かれた音符の音名と鍵盤の位置が一致出来るように復習する
3	5月27日	講義・演習	音名、音符、休符	音名、音符、休符の表し方と運符を復習する
4	5月29日	講義・演習	音符、休符	音符、休符の表し方と運符を復習する
5	6月3日	講義・演習	拍子、複合拍子	小節線、単純拍子、複合・混合拍子、タイについて復習する
6	6月5日	講義・演習	記譜法、臨時記号	調号と臨時記号の区別、臨時記号の効力を学び正しい楽譜が書けるようにする
7	6月10日	講義・演習	反復記号	反復記号を学び、音源を聴きながら復習できるようにする
8	6月12日	講義・演習	音程	音程(度数の数え方、全音と半音)を復習する
9	6月17日	講義・演習	音程	音程(2.3.6.7度、#とあり)を復習する
10	6月19日	講義・演習	音程	音程(1.4.5.8度、#とあり)を復習する
11	6月24日	講義・演習	メジャースケール	メジャースケールの仕組みを復習し、実際に歌ったり楽器で弾いてみる
12	6月26日	講義・演習	メジャースケール	5度圏を用い、調号を用いてスケールを書けるようにし、実際に歌ったり楽器で弾いてみる
13	7月1日	講義・演習	マイナースケール	調号を用いてナチュラルマイナースケールを書けるようにし、実際に歌ったり楽器で弾いてみる
14	7月3日	講義・演習	マイナースケール	ハーモニックマイナー、メロディックマイナースケールを書けるようにし、実際に歌ったり楽器で弾いてみる
15	7月8日	講義・演習	スコアリーディング	総復習をし、理解度を高める
準備学習 時間外学習			前回までの内容をワークを使って復習、次の内容に備える	
【使用教科書・教材・参考書】 ゼロから始める音楽理論(喜多弘悦)音楽教育科学研究所(監修)株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行) 株式会社国際教育事業部				

東京スクールオブミュージック&ダンス専門学校

科目名		必修 選択		年次		担当教員	
学系・コース		授業 形態		総時間 (単位)			
教員の略歴							
授業の学習 内容							
到達目標							
評価方法と基準							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
16	7月10日	講義・演習	中間テスト	前回までの内容の復習
17	7月15日	講義・演習	楽法	省略記号、楽法記号、装飾記号を復習する
18	7月17日	講義・演習	近親調	それぞれの調の関係を理解し復習する
19	7月22日	講義・演習	移調	五線を用いて移調が出来るようにする
20	7月29日	講義・演習	トライアド	コードの概念とトライアドの構造を理解し復習し実際に弾いてみる
21	7月31日	講義・演習	7thコード	トライアドの知識を踏まえ、7thコードに発展させることが出来るようにし、実際に弾いてみる
22	8月5日	講義・演習	7thコードの復習とdim7	トライアド、7thコード、dimコードの構造を復習し実際に弾いてみる
23	8月7日	講義・演習	転回形	転回形の表記方法を復習し、G-clefでの簡単なヴァインディングが出来るようにする
24	8月19日	講義・演習	その他のコード	add, sus4, 6thコードを復習し実際に弾いてみる
25	8月21日	講義・演習	テンション	9th, 11th, 13thのテンションコードを復習し実際に弾いてみる
26	8月14日	講義・演習	まとめ	今まで習ったコードの内容を復習し、理解度を高める
27	8月28日	講義・演習	スコアリーディング	総復習をし、理解度を高める
28	9月2日	講義・演習	まとめ、期末予備テスト	復習、テスト対策を行い期末テストに備える
29	9月4日	講義・演習	期末テスト	前回までの内容の復習
30	9月11日	講義・演習	テスト返却、総復習	楽譜を見て、keyや雰囲気などをつかみ、表現できるようにする
準備学習 時間外学習			前回までの内容をワークを使って復習、次の内容に備える	
【使用教科書・教材・参考書】 ゼロから始める音楽理論(喜多弘悦)音楽教育科学研究所(監修)株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行) 株式会社国際教育事業部				

東京スクールオブミュージック&ダンス専門学校

科目名	Music Theory (2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	田村野矢
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていくためには、楽曲の分析やオリジナル作曲、アレンジの能力が必要となる。本講義では音楽理論の基礎から応用までをしっかりと理解し、実際に表現に繋げていけるよう学んで行く。						
到達目標	楽曲分析ができるようになり、実際にオリジナル作曲や楽曲アレンジができるようになる。						
評価方法及び基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	楽譜の歴史、五線譜、クレフ	五線譜の各部名称とクレフ、音名を復習する
2	10月9日	講義・演習	音名	五線に書かれた音符の音名と鍵盤の位置が一致出来るように復習する
3	10月14日	講義・演習	音名、音符、休符	音名、音符、休符の表し方と運符を復習する
4	10月16日	講義・演習	音符、休符	音符、休符の表し方と運符を復習する
5	10月21日	講義・演習	拍子、複合拍子	小節線、単純拍子、複合・混合拍子、タイについて復習する
6	11月6日	講義・演習	記譜法、臨時記号	調号と臨時記号の区別、臨時記号の効力を学び正しい楽譜が書けるようにする
7	11月11日	講義・演習	反復記号	反復記号を学び、音源を聴きながら復習できるようにする
8	11月13日	講義・演習	音程	音程(度数の数え方、全音と半音)を復習する
9	11月18日	講義・演習	音程	音程(2.3.6.7度、#とあり)を復習する
10	11月20日	講義・演習	音程	音程(1.4.5.8度、#とあり)を復習する
11	11月25日	講義・演習	メジャースケール	メジャースケールの仕組みを復習し、実際に歌ったり楽器で弾いてみる
12	11月27日	講義・演習	メジャースケール	5度圏を用い、調号を用いてスケールを書けるようにし、実際に歌ったり楽器で弾いてみる
13	12月2日	講義・演習	マイナースケール	調号を用いてナチュラルマイナースケールを書けるようにし、実際に歌ったり楽器で弾いてみる
14	12月4日	講義・演習	マイナースケール	ハーモニックマイナー、メロディックマイナースケールを書けるようにし、実際に歌ったり楽器で弾いてみる
15	12月8日	講義・演習	スコアリーディング	総復習をし、理解度を高める
準備学習 時間外学習		前回までの内容をワークを使って復習、次の内容に備える		
【使用教科書・教材・参考書】 ゼロから始める音楽理論(喜多弘悦)音楽教育科学研究所(監修)株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行) 株式会社国際教育事業部				

東京スクールオブミュージック&ダンス専門学校

科目名		必修 選択		年次		担当教員	
学科・コース		授業 形態		総時間 (単位)			
教員の略歴							
授業の学習 内容							
到達目標							
評価方法及び基準							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
16	12月11日	講義・演習	中間テスト	前回までの内容の復習
17	12月16日	講義・演習	楽法	省略記号、楽法記号、装飾記号を復習する
18	12月18日	講義・演習	近親調	それぞれの調の関係を理解し復習する
19	1月6日	講義・演習	移調	五線を用いて移調ができるようにする
20	1月8日	講義・演習	トライアド	コードの概念とトライアドの構造を理解し復習し実際に弾いてみる
21	1月13日	講義・演習	7thコード	トライアドの知識を踏まえ、7thコードに発展させることが出来るようにし、実際に弾いてみる
22	1月15日	講義・演習	7thコードの復習とdim7	トライアド、7thコード、dimコードの構造を復習し実際に弾いてみる
23	1月20日	講義・演習	転回形	転回形の表記方法を復習し、G-clefでの簡単なヴォイシングが出来るようにする
24	1月22日	講義・演習	その他のコード	add、sus4、6thコードを復習し実際に弾いてみる
25	1月27日	講義・演習	テンション	9th、11th、13thのテンションコードを復習し実際に弾いてみる
26	1月29日	講義・演習	まとめ	今まで習ったコードの内容を復習し、理解度を高める
27	2月10日	講義・演習	スコアリーディング	総復習をし、理解度を高める
28	2月12日	講義・演習	まとめ、期末予備テスト	復習、テスト対策を行い期末テストに備える
29	2月17日	講義・演習	期末テスト	前回までの内容の復習
30	2月19日	講義・演習	テスト返却、総復習	楽譜を見て、keyや雰囲気などをつかみ、表現できるようにする
準備学習 時間外学習		前回までの内容をワークを使って復習、次の内容に備える		
【使用教科書・教材・参考書】 ゼロから始める音楽理論(喜多弘悦)音楽教育科学研究所(監修)株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行) 株式会社国際教育事業部				

東京スクールオブミュージック&ダンス専門学校

科目名	Ear Training (1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	田村野矢
学名・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていくには、楽譜を読み初見で歌う能力、聴こえる音の分析能力が必要となる。本講義では、実際に楽譜を聴き、聴こえる音やリズムを正しく五線紙に書き記す事ができるよう訓練し、現場で即戦力となる人材を育成する。						
到達目標	楽譜を初見で演奏できるように、さらに耳コピができるようになる。						
評価方法及び基準	筆記又は、実技テストによる採点						

科目名		必修 選択		年次		担当教員	
学名・コース		授業 形態		総時間 (単位)			
教員の略歴							
授業の学習 内容							
到達目標							
評価方法及び基準							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月20日	講義・演習	音の歴史、モルシ度、周波数、効果音について知る リズム打ち・書き取り方について知る 音の高低の判定	配布された授業プリントのリズム書き取りを正確に印ける ようにする
2	5月22日	講義・演習	4分音符、4分休符のリズム打ち 3拍子4拍子の二拍子差を 5 2線紙を使って音の高低判定 2度音程を聴き音程感を身に 付ける	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを復習す る
3	5月27日	講義・演習	8分音符のリズム打ちと5線紙を使ってリズムの書き取り 3線紙を使って音の高低判定	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを復習す る
4	5月29日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符のリズム打ち、リズムの書き 取り、5線紙を使ってメロディーの書き取り	配布された授業プリントのリズム打ちやメロディー書き取 り、音程を復習する
5	6月3日	講義・演習	16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、休符の多いメロ ディーの書き取り 新曲視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を 復習する
6	6月5日	講義・演習	16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、休符の多いメロ ディーの書き取り 新曲視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を 復習する
7	6月10日	講義・演習	前回までの内容を復習する	今までの内容を復習し次回の授業に備える
8	6月12日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符のリズム打ち、リ ズム書き取り、メロディーの書き取り、新曲視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を 復習する
9	6月17日	講義・演習	8分休符(裏打ち)のリズム打ち、書き取り、メロディーの書 き取り、新曲視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を 復習する
10	6月19日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズ ム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を 復習する
11	6月24日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズ ム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を 復習する
12	6月26日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズ ム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱、MajorMinorのコード判 断	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を 復習する
13	7月1日	講義・演習	期末準備テスト	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を 復習する
14	7月3日	講義・演習	期末テスト	前回までの内容の復習
15	7月8日	講義・演習	テスト返却、総復習	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを復習す る
準備学習 時間外学習	前回の内容のリズム打ちや視唱を復習して次回に備える			
【使用教科書・教材・参考書】				

東京スクールオブミュージック&ダンス専門学校

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
16	7月10日	講義・演習	E11で習ったリズム打ち・書き取り、マイナーkeyの視唱、CMajor のメロディー書き取り、MajorMinorのコード聞き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習 する
17	7月15日	講義・演習	3連符のリズム打ち・書き取り、マイナーkeyの視唱、 CMajorMinorのメロディー書き取り、コードの聞き分け(C.G.F)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習 する
18	7月17日	講義・演習	リズム打ち、コード付き(C.G.F)メロディー書き取り、CMajorのメ ロディーの書き取り(臨時記号付き)、マイナーkeyの視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習す る
19	7月22日	講義・演習	リズム打ち、コード付き(C.G.F)メロディー書き取り、CMajorのメ ロディーの書き取り(臨時記号付き)、マイナーkeyの視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習す る
20	7月29日	講義・演習	タイの付いたリズム打ち、コード付き(C.G.F)メロディー書 き取り、CMajorのメロディーの書き取り、新曲視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習 する
21	7月31日	講義・演習	タイの付いたリズム打ち、コード付き(C.G.F)メロディー書 き取り、CMajorのメロディーの書き取り、新曲視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習 する
22	8月5日	講義・演習	前回までの内容を復習する	今までの内容を復習し次回の授業に備える
23	8月7日	講義・演習	8拍子・タイの付いたリズム打ち、コード付き(C.G.F)メロ ディー書き取り、ベース(F-chord)のメロディー書き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習 する
24	8月19日	講義・演習	タイ付き・8拍子のリズム打ち、コード付き(C.G.F)メロ ディー書き取り、ベース(F-chord)のメロディー書き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習 する
25	8月21日	講義・演習	タイ付き・8拍子のリズム打ち、コード付き(C.G.F)メロ ディー書き取り、ベース(F-chord)のメロディー書き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習 する
26	8月14日	講義・演習	タイ付き・8拍子のリズム打ち、コード付き(C.G.F)メロ ディー書き取り、ベース(F-chord)のメロディー書き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習 する
27	8月28日	講義・演習	タイ付き・8拍子のリズム打ち、コード付き(C.G.F)メロ ディー書き取り、ベース(F-chord)のメロディー書き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習 する
28	9月2日	講義・演習	期末準備テスト	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習 する
29	9月4日	講義・演習	期末テスト	前回までの内容の復習
30	9月11日	講義・演習	テスト返却、総復習	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習 する
準備学習 時間外学習	前回の内容のリズム打ちや視唱を復習して次回に備える			
【使用教科書・教材・参考書】	【使用教科書・教材・参考書】 「イヤートレーニング」喜多弘悦(著) 温産教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行) 株式会社温産教育事 業部(発売)			

東京スクールオブミュージック&ダンス専門学校

科目名	Ear Training (2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	田村野矢
学号・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていくには、楽譜を読み初見で歌う能力、聴こえる音の分析能力が必要となる。本講義では、実際に楽譜を聴き、聴こえる音やリズムを正しく五線紙に書き記す事ができるように訓練し、現場で即戦力となる人材を育成する。						
到達目標	楽譜を初見で演奏できるように、さらに耳コピができるようになる。						
評価方法及び基準	筆記又は、実技テストによる採点						

科目名		必修 選択		年次		担当教員	
学号・コース		授業 形態		総時間 (単位)			
教員の略歴							
授業の学習 内容							
到達目標							
評価方法及び基準							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	音の歴史、モルシズ番号、周波数、効果音について知る リズム打ち・書き取り方について知る 音の高低の判定	配布された授業プリントのリズム書き取りを正確に印けるようにする
2	10月9日	講義・演習	3線紙を使った音の高低判定 2度音程を聞き取り、3線紙を用いて記入する	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを復習する
3	10月14日	講義・演習	8分音符のリズム打ちと5線紙を使ってリズムの書き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを復習する
4	10月16日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符のリズム打ち、リズムの書き取り、5線紙を使ってメロディーの書き取り	配布された授業プリントのリズム打ちやメロディー書き取り、音程を復習する
5	10月21日	講義・演習	16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、休符の多いメロディーの書き取り 新曲視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
6	11月6日	講義・演習	16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、休符の多いメロディーの書き取り 新曲視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
7	11月11日	講義・演習	前回までの内容を復習する	今までの内容を復習し次回授業に備える
8	11月13日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
9	11月18日	講義・演習	8分休符(裏打ち)のリズム打ち、書き取り、メロディーの書き取り、新曲視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
10	11月20日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち、書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
11	11月25日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち、書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
12	11月27日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち、書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱、新曲視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
13	12月2日	講義・演習	期末準備テスト	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
14	12月4日	講義・演習	期末テスト	前回までの内容の復習
15	12月8日	講義・演習	テスト返却、総復習	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを復習する
準備学習 時間外学習	前回の内容のリズム打ちや視唱を復習して次回に備える			
【使用教科書・教材・参考書】				

東京スクールオブミュージック&ダンス専門学校

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
16	12月11日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
17	12月16日	講義・演習	8分音符のリズム打ち、書き取り、マイナーkeyの視唱、CMajorのメロディー書き取り、コードの読み分け(C/G/F)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
18	12月18日	講義・演習	CMajorのメロディーの書き取り(臨時記号付き)、マイナーkeyの視唱、コード付きのメロディー書き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
19	1月6日	講義・演習	CMajorのメロディーの書き取り、マイナーkeyの視唱、コード付きのメロディー書き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
20	1月8日	講義・演習	タイの付いたリズム打ち、コード付き(C/G/F)メロディー書き取り、CMajorのメロディーの書き取り、新曲視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
21	1月13日	講義・演習	タイの付いたリズム打ち、コード付き(C/G/F)メロディー書き取り、CMajorのメロディーの書き取り、新曲視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
22	1月15日	講義・演習	前回までの内容を復習する	今までの内容を復習し次回授業に備える
23	1月20日	講義・演習	8分音符・タイの付いたリズム打ち、コード付き(C/G/F)メロディー書き取り、ベース(F-clef)のメロディー書き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
24	1月22日	講義・演習	タイ付き・8分音符のリズム打ち、コード付き(C/G/F)メロディー書き取り、ベース(F-clef)のメロディー書き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
25	1月27日	講義・演習	タイ付き・8分音符のリズム打ち、コード付き(C/G/F)メロディー書き取り、ベース(F-clef)のメロディー書き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
26	1月29日	講義・演習	タイ付き・8分音符のリズム打ち、コード付き(C/G/F)メロディー書き取り、大譜表のメロディー書き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
27	2月10日	講義・演習	タイ付き・8分音符のリズム打ち、コード付き(C/G/F)メロディー書き取り、大譜表のメロディー書き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
28	2月12日	講義・演習	期末準備テスト	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
29	2月17日	講義・演習	期末テスト	前回までの内容の復習
30	2月19日	講義・演習	テスト返却、総復習	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
準備学習 時間外学習	前回の内容のリズム打ちや視唱を復習して次回に備える			
【使用教科書・教材・参考書】 「イヤートレーニング」喜多弘悦(著) 温産教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行) 株式会社温産教育事業部(販売)				

東京スクールオブミュージック&ダンス専門学校

科目名	IEP(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	paul searle
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	外国人を前に怖がったり恥ずかしがったりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	英語で挨拶したり、自分の言いたいことを伝え、相手の言っていることを理解するなど、日常の場面で簡単な英語コミュニケーションができるようになる。						
評価方法 基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月20日	講義・演習	クラスメート(他の専攻の学生)と挨拶する トーキング:相手に質問することができるようになる・相手の質問に答えられるようになる	自己練習・復習
2	5月27日	講義・演習	リスニング トーキング:質問をさらに詳しく聞くことができるようになる	自己練習・復習
3	6月3日	講義・演習	リスニング トーキング:Yes/No 質問をすることができるようになる	自己練習・復習
4	6月10日	講義・演習	復習	自己練習・復習
5	6月17日	講義・演習	リスニング トーキング:Yes/No 質問を速くすることができるようになる	自己練習・復習
6	6月24日	講義・演習	リスニング トーキング:怪我・栄養物を説明できるようになる 1	自己練習・復習
7	7月1日	講義・演習	復習	自己練習・復習
8	7月8日	講義・演習	リスニング トーキング:怪我・栄養物を説明できるようになる 2	自己練習・復習
9	7月15日	講義・演習	リスニング トーキング:怪我・栄養物を説明できるようになる 3	自己練習・復習
10	7月22日	講義・演習	リスニング トーキング:家族・映画について話すことができるようになる	自己練習・復習
11	7月29日	講義・演習	復習	自己練習・復習
12	8月5日	講義・演習	リスニング トーキング:食べ物について話すことができるようになる	自己練習・復習
13	8月19日	講義・演習	リスニング トーキング:食べ物の種類を説明できるようになる	自己練習・復習
14	8月26日	講義・演習	リスニング トーキング:誕生日・日常生活について話すことができるようになる	自己練習・復習
15	9月2日	講義・演習	前期振り返り	自己練習・復習
準備学習 時間外学習			自宅で教科書に付随するオンラインプラクティスの内容を活用し、予習・復習を行うこと。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	IEP(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	paul searle
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	外国人を前に怖がったり恥ずかしがったりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	英語で挨拶したり、自分の言いたいことを伝え、相手の言っていることを理解するなど、日常の場面で簡単な英語コミュニケーションができるようになる。						
評価方法 基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	前期復習	自己練習・復習
2	10月14日	講義・演習	リスニング トーキング: 自宅周辺・音楽について雑談できるようになる	自己練習・復習
3	10月21日	講義・演習	リスニング トーキング: 学校・スポーツについて雑談できるようになる	自己練習・復習
4	11月11日	講義・演習	リスニング トーキング: 学校生活・Youtubeについて雑談できるようになる	自己練習・復習
5	11月18日	講義・演習	復習	自己練習・復習
6	11月25日	講義・演習	リスニング トーキング: 仕事について雑談できるようになる	自己練習・復習
7	12月2日	講義・演習	リスニング トーキング: 休暇・スマホについて雑談できるようになる	自己練習・復習
8	12月9日	講義・演習	リスニング トーキング: 外食・ペットについて雑談できるようになる	自己練習・復習
9	12月16日	講義・演習	復習	自己練習・復習
10	1月6日	講義・演習	リスニング トーキング: ショッピング・睡眠について雑談できるようになる	自己練習・復習
11	1月13日	講義・演習	リスニング トーキング: 旅行・読書について雑談できるようになる	自己練習・復習
12	1月20日	講義・演習	リスニング トーキング: 病気・週末について雑談できるようになる	自己練習・復習
13	1月27日	講義・演習	レベルチェックプラクティス1	自己練習・復習
14	2月10日	講義・演習	レベルチェックプラクティス2	自己練習・復習
15	2月17日	講義・演習	前期・後期振り返り	自己練習・復習
準備学習 時間外学習			自宅で教科書に付随するオンラインプラクティスの内容を活用し、予習・復習を行うこと。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Expression A(3) Dr Control Theory(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	星山哲也
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ルーディメンツのドラムセットへのオーケストレーション。 ポリリズムのドラムセットへの応用。 各ルーディメンツの応用。 ドラムを演奏する全ての科目でのテクニックの上達。 それぞれのエクササイズを丁寧に練習し、ハイレベルなドラミングに挑戦する。						
到達目標	ドラムを演奏するにあたり、音色やダイナミクス等を無意識にコントロールし、楽曲の中での自由度を更に広げることを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月23日	講義・演習	シングルストロークコンビネーション、オールアメリカンドラマーNo.1	ワークシート・時間外でのパッド練習
2	5月30日	講義・演習	ダブルストロークコンビネーション・オールアメリカンドラマーNo.2	ワークシート・時間外でのパッド練習
3	6月6日	講義・演習	シングルパラダイドルコンビネーション、オールアメリカンドラマーNo.3	ワークシート・時間外でのパッド練習
4	6月13日	講義・演習	ダブルストロークコンビネーション、オールアメリカンドラマーNo.4	ワークシート・時間外でのパッド練習
5	6月20日	講義・演習	トリプルパラダイドルコンビネーション、オールアメリカンドラマーNo.5	ワークシート・時間外でのパッド練習
6	6月27日	講義・演習	演習・ダブルパラダイドルバリエーション・オールアメリカンドラマーNo.6	ワークシート・時間外でのパッド練習
7	7月4日	講義・演習	トリプルパラダイドルバリエーション、オールアメリカンドラマーNo.7	ワークシート・時間外でのパッド練習
8	7月11日	講義・演習	フラムダブルパラダイドルバリエーション、オールアメリカンドラマーNo.8	ワークシート・時間外でのパッド練習
9	7月18日	講義・演習	フラムトリプルパラダイドルバリエーション、オールアメリカンドラマーNo.9	ワークシート・時間外でのパッド練習
10	8月1日	講義・演習	2拍3連応用、オールアメリカンドラマーNo.10	ワークシート・時間外でのパッド練習
11	8月8日	講義・演習	2拍3連メトリックモジュレーション、オールアメリカンドラマー復習	ワークシート・時間外でのパッド練習
12	8月22日	講義・演習	4拍3連応用、オールアメリカンドラマーNo.11	ワークシート・時間外でのパッド練習
13	8月29日	講義・演習	4拍3連メトリックモジュレーション、オールアメリカンドラマー	ワークシート・時間外でのパッド練習
14	9月5日	講義・演習	イベントでのステージ演奏 (実際のシチュエーションで演奏技術を学ぶ)	ワークシート・時間外でのパッド練習
15	9月12日	講義・演習	イベントでのステージ演奏 (実際のシチュエーションで演奏技術を学ぶ)	ワークシート・時間外でのパッド練習
準備学習 時間外学習			ワークシート・時間外でのパッド練習(1日30分程度)	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Expression A(4) Dr Control Theory(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	星山哲也
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ルーディメンツのドラムセットへのオーケストレーション。 ポリリズムのドラムセットへの応用。 各ルーディメンツの応用。 オスティナートやリニアドラミングの習得。 ダブルベースドラミングの習得。 ドラムを演奏する全ての科目でのテクニックの上達。						
到達目標	ドラムを演奏するにあたり、音色やダイナミクス等を無意識にコントロール出来るようになり、楽曲の中での自由度を更に広げ ることを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月10日	講義・演習	イベントでのステージ演奏 (実際のシチュエーションで演奏技術を学ぶ)	ワークシート・時間外でのパッド練習
2	10月17日	講義・演習	イベントでのステージ演奏 (実際のシチュエーションで演奏技術を学ぶ)	ワークシート・時間外でのパッド練習
3	11月7日	講義・演習	3拍4連応用、オールアメリカンドラマーNo.13	ワークシート・時間外でのパッド練習
4	11月14日	講義・演習	ハイブリッドルーディメンツの紹介、オールアメリカンドラ マーNo.14	ワークシート・時間外でのパッド練習
5	11月21日	講義・演習	サンバオスティナート、オールアメリカンドラマーNo.15	ワークシート・時間外でのパッド練習
6	11月28日	講義・演習	サンバオスティナートオールアメリカンドラマーNo.16	ワークシート・時間外でのパッド練習
7	12月5日	講義・演習	サンバオスティナート・オールアメリカンドラマーNo.17	ワークシート・時間外でのパッド練習
8	12月12日	講義・演習	クラベオスティナート・オールアメリカンドラマーNo.18	ワークシート・時間外でのパッド練習
9	12月19日	講義・演習	クラベオスティナート・オールアメリカンドラマーNo.19	ワークシート・時間外でのパッド練習
10	1月9日	講義・演習	クラベオスティナート・オールアメリカンドラマーNo.20	ワークシート・時間外でのパッド練習
11	1月16日	講義・演習	リニアエクササイズ・オールアメリカンドラマー復習	ワークシート・時間外でのパッド練習
12	1月23日	講義・演習	リニアエクササイズ・クレイジーアーミー	ワークシート・時間外でのパッド練習
13	1月30日	講義・演習	リニア応用・クレイジーアーミー	ワークシート・時間外でのパッド練習
14	2月13日	講義・演習	ダブルベースドラミング、クレイジーアーミー	ワークシート・時間外でのパッド練習
15	2月20日	講義・演習	テスト	ワークシート・時間外でのパッド練習
準備学習 時間外学習			ワークシート・時間外でのパッド練習(1日30分程度)	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Expression B(3) Ba Groove Analyze(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	遠藤敬三
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	現代音楽におけるスタンダードグルーヴの抽出とアナライズが主な内容で、その種類と手法を紹介し、体感することをテーマとする。ビートの感じ方に関する段階的なメニューを消化し、音楽的感性の成長に繋げる。スタンダード・ミディ・ファイルを使用し、授業にて体感させ目標とされる演奏基準に到達するためのトレーニング方、考え方、自己修正などを教授する。						
到達目標	ベースという楽器を通して音楽表現に関する体感を積み重ねることにより、スタンダードなリズムとフィールを習得する事を目的とする。 各種トレーニングの消化や自発的研究活動の延長線上に、タイム感と音感の重要性を理解し、グルーヴに対する気付きが生まれる事が目標となる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月19日	講義・演習	ブラジリアン・リズムの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なボサノヴァパターンを例題にて説明する。	Chapter25の復習とChapter26の予習
2	5月26日	講義・演習	ボサノヴァの基本的なパターンを実践する。(エクササイズ)	Chapter26の復習とChapter27の予習
3	6月2日	講義・演習	ブラジリアン・リズムの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なサンバパターンを例題にて説明する。	Chapter27の復習とChapter28の予習
4	6月9日	講義・演習	サンバの基本的なパターンを実践する。(エクササイズ)	Chapter28の復習とChapter29の予習
5	6月16日	講義・演習	ジャマイカ発祥のレゲエの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なパターンを例題にて説明する。	Chapter29の復習とChapter30の予習
6	6月23日	講義・演習	レゲエの基本的なパターンを実践する。(エクササイズ)	Chapter30の復習とChapter31の予習
7	6月30日	講義・演習	リズムの源流であるアフリカン・リズムの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なパターンを例題にて説明する。	Chapter31の復習とChapter32の予習
8	7月7日	講義・演習	6/8拍子のアフリカン・リズムの基本的なパターンを実践する。(エクササイズ)	Chapter32の復習とChapter33の予習
9	7月14日	講義・演習	キューバ発祥のアフロ・キューバン・リズムの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なパターンを例題にて説明する。	Chapter33の復習とChapter34の予習
10	7月21日	講義・演習	アフロ・キューバン・リズムの基本的なパターンを実践する。(エクササイズ)	Chapter34の復習とChapter35の予習
11	7月28日	講義・演習	ハードロックの原点のロックの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なパターンを例題にて説明する。	Chapter35の復習とChapter36の予習
12	8月4日	講義・演習	クラシック・ロックの基本的なパターンを実践する。(エクササイズ)	Chapter36の復習とChapter37の予習
13	8月18日	講義・演習	ディスコ・ビートの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なパターンを例題にて説明する。	Chapter37の復習とChapter38の予習
14	8月25日	講義・演習	イベント実践を通してベーステクニックを学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	9月1日	講義・演習	イベント実践を通してベーステクニックを学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			オリジナル教材の復習と予習	
【使用教科書・教材・参考書】				
Bass Groove Analyze (滋慶出版オリジナル教材)、SMF書類				

科目名	Expression B(4) Ba Groove Analyze(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	遠藤敬三
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	現代音楽におけるスタンダードグルーブの抽出とアナライズが主な内容で、その種類と手法を紹介し、体感することをテーマとする。ビートの感じ方に関する段階的なメニューを消化し、音楽的感性の成長に繋げる。スタンダード・ミディ・ファイルを使用し、授業にて体感させ目標とされる演奏基準に到達するためのトレーニング方、考え方、自己修正などを教授する。						
到達目標	ベースという楽器を通して音楽表現に関する体感を積み重ねることにより、スタンダードなリズムとフィールを習得する事を目的とする。 各種トレーニングの消化や自発的研究活動の延長線上に、タイム感と音感の重要性を理解し、グルーブに対する気付きが生まれる事が目標となる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	ディスコビートの基本的なパターンを実践する。(エクササイズ)	Chapter38の復習とChapter39の予習
2	10月13日	講義・演習	リズム&ブルースの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なパターンを例題にて説明する。	Chapter39の復習とChapter40の予習
3	10月20日	講義・演習	リズム&ブルースの基本的なパターンを実践する。(エクササイズ)	Chapter40の復習とChapter41の予習
4	11月10日	講義・演習	モータウン・ビートの歴史的な背景とリズムの起源を説明し	Chapter41の復習とChapter42の予習
5	11月17日	講義・演習	モータウン・ビートの基本的なパターンを実践する。(エクササイズ)	Chapter42の復習とChapter43の予習
6	11月24日	講義・演習	ファンク・ビートの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なパターンを例題にて説明する。	Chapter43の復習とChapter44の予習
7	12月1日	講義・演習	初期のファンク・ビートの基本的なパターンを実践する。(エクササイズ)	Chapter44の復習とChapter45の予習
8	12月8日	講義・演習	中期のファンク・ビートの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なパターンを例題にて説明する。	Chapter45の復習とChapter46の予習
9	12月15日	講義・演習	中期のファンク・ビートの基本的なパターンを実践する。(エクササイズ)	Chapter46の復習とChapter47の予習
10	12月22日	講義・演習	近代のファンク・ビートの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なパターンを例題にて説明する。	Chapter47の復習とChapter48の予習
11	1月12日	講義・演習	近代のファンク・ビートの基本的なパターンを実践する。(エクササイズ)	Chapter48の復習とChapter49の予習
12	1月19日	講義・演習	フュージョンの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なパターンを例題にて説明する。	Chapter49の復習とChapter50の予習
13	1月26日	講義・演習	フュージョンの基本的なパターンを実践する。(エクササイズ)	Chapter50の復習
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通してベーステクニックを学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通してベーステクニックを学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			オリジナル教材の復習と予習	
【使用教科書・教材・参考書】				
Bass Groove Analyze (滋慶出版オリジナル教材)、SMF書類				

科目名	SPL(3) SPL(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員 梅村雄也 乙部ヒロ 城石真臣 前澤 卓
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	メロディー、リズム、ハーモニーについての理解を深めるため、様々なジャンルの音楽を通して演奏と理論を講義や演習で学び、応用技術を習得する。					
到達目標	メロディーやハーモニーについての理解を深め、様々なジャンルを理解し、演奏するための応用技術を習得する。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月19日	講義・演習	課題曲(1)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
2	5月26日	講義・演習	課題曲(1)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
3	6月2日	講義・演習	課題曲(2)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
4	6月9日	講義・演習	課題曲(2)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
5	6月16日	講義・演習	課題曲(2)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
6	6月23日	講義・演習	課題曲(3)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
7	6月30日	講義・演習	課題曲(3)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
8	7月7日	講義・演習	課題曲(4)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
9	7月14日	講義・演習	課題曲(4)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
10	7月21日	講義・演習	課題曲(5)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
11	7月28日	講義・演習	課題曲(5)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
12	8月25日	講義・演習	課題曲(6)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
13	9月1日	講義・演習	課題曲(6)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して楽器技術を学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通して楽器技術を学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
準備学習 時間外学習			講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習	
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナルテキスト				

科目名	SPL(3) Instrumental Study(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	梅村雄也
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	メロディー、リズム、ハーモニーについての理解を深めるため、様々なジャンルの音楽を通して演奏と理論を講義や演習で学び、応用技術を習得する。						
到達目標	メロディーやハーモニーについての理解を深め、様々なジャンルを理解し、演奏するための応用技術を習得する。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月19日	講義・演習	課題曲(1)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
2	5月26日	講義・演習	課題曲(1)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
3	6月2日	講義・演習	課題曲(2)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
4	6月9日	講義・演習	課題曲(2)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
5	6月16日	講義・演習	課題曲(2)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
6	6月23日	講義・演習	課題曲(3)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
7	6月30日	講義・演習	課題曲(3)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
8	7月7日	講義・演習	課題曲(4)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
9	7月14日	講義・演習	課題曲(4)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
10	7月21日	講義・演習	課題曲(5)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
11	7月28日	講義・演習	課題曲(5)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
12	8月25日	講義・演習	課題曲(6)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
13	9月1日	講義・演習	課題曲(6)を通してメロディー・リズム・ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して楽器技術を学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通して楽器技術を学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
準備学習 時間外学習			講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習	
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナルテキスト				

科目名	SPL(4) SPL(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員 梅村雄也 乙部ヒロ 城石真臣 前澤 卓
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	メロディー、リズム、ハーモニーについての理解を深めるため、様々なジャンルの音楽を通して演奏と理論を講義や演習で学び、応用技術を習得する。					
到達目標	メロディーやハーモニーについての理解を深め、様々なジャンルを理解し、演奏するための応用技術を習得する。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	課題曲(7)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
2	10月13日	講義・演習	課題曲(7)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
3	10月20日	講義・演習	課題曲(8)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
4	11月10日	講義・演習	課題曲(8)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
5	11月17日	講義・演習	課題曲(9)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
6	11月24日	講義・演習	課題曲(9)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
7	12月1日	講義・演習	課題曲(9)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
8	12月8日	講義・演習	課題曲(10)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
9	12月15日	講義・演習	課題曲(10)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
10	12月22日	講義・演習	課題曲(11)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
11	1月12日	講義・演習	課題曲(11)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
12	1月19日	講義・演習	課題曲(12)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
13	1月26日	講義・演習	課題曲(12)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して楽器技術を学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して楽器技術を学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
準備学習 時間外学習			講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習	
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナルテキスト				

科目名	SPL(4) Instrumental Study(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	梅村雄也
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	メロディー、リズム、ハーモニーについての理解を深めるため、様々なジャンルの音楽を通して演奏と理論を講義や演習で学び、応用技術を習得する。						
到達目標	メロディーやハーモニーについての理解を深め、様々なジャンルを理解し、演奏するための応用技術を習得する。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	課題曲(7)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
2	10月13日	講義・演習	課題曲(7)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
3	10月20日	講義・演習	課題曲(8)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
4	11月10日	講義・演習	課題曲(8)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
5	11月17日	講義・演習	課題曲(9)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
6	11月24日	講義・演習	課題曲(9)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
7	12月1日	講義・演習	課題曲(9)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
8	12月8日	講義・演習	課題曲(10)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
9	12月15日	講義・演習	課題曲(10)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
10	12月22日	講義・演習	課題曲(11)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
11	1月12日	講義・演習	課題曲(11)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
12	1月19日	講義・演習	課題曲(12)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
13	1月26日	講義・演習	課題曲(12)を通してメロディー、リズム、ハーモニーを学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して楽器技術を学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して楽器技術を学ぶ	講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習
準備学習 時間外学習			講師作成のオリジナルテキストを用いての自習と復習	
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナルテキスト				

科目名	Rock&Pops Ensemble A(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 松田肇 濱崎大地 國末慶宏
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	Rock,Popsの楽曲のアンサンブルを通しての、技術の向上、楽曲音楽の理解、その他音楽全般の全てについて					
到達目標	プロフェッショナルの現場に向けての準備、自己表現、アートとしての音楽表現について考えられるようになる					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月22日	講義・演習	課題曲#1、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
2	5月29日	講義・演習	課題曲#1、実習2、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
3	6月5日	講義・演習	課題曲#2、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
4	6月12日	講義・演習	課題曲#2、実習2、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
5	6月19日	講義・演習	課題曲#3、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
6	6月26日	講義・演習	課題曲#3、実習2、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
7	7月3日	講義・演習	課題曲#4、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
8	7月10日	講義・演習	課題曲#4、実習2、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
9	7月17日	講義・演習	課題曲#5、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
10	7月31日	講義・演習	課題曲#5、実習2、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
11	8月7日	講義・演習	課題曲#6、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
12	8月21日	講義・演習	課題曲#6、実習2、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
13	8月28日	講義・演習	課題曲#7、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
14	9月4日	講義・演習	イベントを通じてステージ上でのアンサンブル技術を学ぶ	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
15	9月11日	講義・演習	イベントを通じてステージ上でのアンサンブル技術を学ぶ	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
準備学習 時間外学習			個人練習・各アーティストやRock,Popsの成り立ちについて理解し、良いLiveを体感すること	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Rock&Pops Ensemble A(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 松田肇 濱崎大地 國末慶宏
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	Rock,Popsの楽曲のアンサンブルを通しての、技術の向上、楽曲音楽の理解、その他音楽全般の全てについて					
到達目標	プロフェッショナルの現場に向けての準備、自己表現、アートとしての音楽表現について考えられるようになる					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月9日	講義・演習	課題曲#1、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
2	10月16日	講義・演習	課題曲#1、実習2、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
3	11月6日	講義・演習	課題曲#2、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
4	11月13日	講義・演習	課題曲#2、実習2、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
5	11月20日	講義・演習	課題曲#3、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
6	11月27日	講義・演習	課題曲#3、実習2、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
7	12月4日	講義・演習	課題曲#4、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
8	12月11日	講義・演習	課題曲#4、実習2、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
9	12月18日	講義・演習	課題曲#5、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
10	1月8日	講義・演習	課題曲#5、実習2、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
11	1月15日	講義・演習	課題曲#6、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
12	1月22日	講義・演習	課題曲#6、実習2、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
13	1月29日	講義・演習	課題曲#7、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
14	2月12日	講義・演習	イベントを通じてステージ上でのアンサンブル技術を学ぶ	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
15	2月19日	講義・演習	イベントを通じてステージ上でのアンサンブル技術を学ぶ	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
準備学習 時間外学習			個人練習・各アーティストやRock,Popsの成り立ちについて理解し、良いLiveを体感すること	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Rock&Pops Ensemble B(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 松田肇 濱崎大地 國末慶宏
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	Rock,Popsの楽曲のアンサンブルを通しての、技術の向上、楽曲音楽の理解、その他音楽全般の全てについて					
到達目標	プロフェッショナルの現場に向けての準備、自己表現、アートとしての音楽表現について考えられるようになる					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月22日	講義・演習	課題曲#1、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
2	5月29日	講義・演習	課題曲#1、実習2、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
3	6月5日	講義・演習	課題曲#2、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
4	6月12日	講義・演習	課題曲#2、実習2、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
5	6月19日	講義・演習	課題曲#3、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
6	6月26日	講義・演習	課題曲#3、実習2、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
7	7月3日	講義・演習	課題曲#4、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
8	7月10日	講義・演習	課題曲#4、実習2、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
9	7月17日	講義・演習	課題曲#5、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
10	7月31日	講義・演習	課題曲#5、実習2、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
11	8月7日	講義・演習	課題曲#6、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
12	8月21日	講義・演習	課題曲#6、実習2、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
13	8月28日	講義・演習	課題曲#7、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
14	9月4日	講義・演習	イベントを通じてステージ上でのアンサンブル技術を学ぶ	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
15	9月11日	講義・演習	イベントを通じてステージ上でのアンサンブル技術を学ぶ	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
準備学習 時間外学習			個人練習・各アーティストやRock,Popsの成り立ちについて理解し、良いLiveを体感すること	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Rock&Pops Ensemble B(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 松田肇 濱崎大地 國末慶宏
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	Rock,Popsの楽曲のアンサンブルを通しての、技術の向上、楽曲音楽の理解、その他音楽全般の全てについて					
到達目標	プロフェッショナルの現場に向けての準備、自己表現、アートとしての音楽表現について考えられるようになる					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月9日	講義・演習	課題曲#1、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
2	10月16日	講義・演習	課題曲#1、実習2、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
3	11月6日	講義・演習	課題曲#2、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
4	11月13日	講義・演習	課題曲#2、実習2、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
5	11月20日	講義・演習	課題曲#3、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
6	11月27日	講義・演習	課題曲#3、実習2、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
7	12月4日	講義・演習	課題曲#4、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
8	12月11日	講義・演習	課題曲#4、実習2、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
9	12月18日	講義・演習	課題曲#5、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
10	1月8日	講義・演習	課題曲#5、実習2、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
11	1月15日	講義・演習	課題曲#6、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
12	1月22日	講義・演習	課題曲#6、実習2、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
13	1月29日	講義・演習	課題曲#7、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
14	2月12日	講義・演習	イベントを通じてステージ上でのアンサンブル技術を学ぶ	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
15	2月19日	講義・演習	イベントを通じてステージ上でのアンサンブル技術を学ぶ	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
準備学習 時間外学習			個人練習・各アーティストやRock,Popsの成り立ちについて理解し、良いLiveを体感すること	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	室内楽(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	石戸谷 齊
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	①人と合わせる感覚を養う、西洋の伝統的な音楽を知り学ぶ、楽器のコントロール力をつける。 ②PCで学んだ技術を、人と合わせることにより、いろんな技法を駆使して対応する事を学び発見する。 ③以上の事を基盤として、管楽器と打楽器のアンサンブルを演奏し、感覚を養う。”						
到達目標	演奏できる事はもちろん、音色やピッチを周りと合わせ、様々な技法や語法習得する。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月21日	講義・演習	課題曲1(クラシック)	譜読み
2	5月28日	講義・演習	課題曲1(クラシック)	譜読み
3	6月4日	講義・演習	課題曲1(クラシック)・課題曲2(クラシック)	譜読み
4	6月11日	講義・演習	課題曲3(クラシック)	譜読み
5	6月18日	講義・演習	課題曲2(クラシック)・課題曲3(クラシック)	譜読み
6	6月25日	講義・演習	課題曲3(クラシック)	譜読み
7	7月2日	講義・演習	課題曲3(クラシック)・課題曲4(Jazz)	譜読み
8	7月9日	講義・演習	課題曲4(Jazz)	譜読み
9	7月16日	講義・演習	課題曲4(Jazz)・課題曲5(Jazz)	譜読み
10	7月30日	講義・演習	課題曲5(Jazz)	譜読み
11	8月6日	講義・演習	課題曲5(Jazz)・課題曲6(Jazz)	譜読み
12	8月20日	講義・演習	課題曲6(Jazz)	譜読み
13	8月27日	講義・演習	課題曲6(Jazz)・課題曲7(Jazz)	譜読み
14	9月3日	講義・演習	これまでの楽曲を全て演奏	譜読み
15	9月10日	講義・演習	これまでの楽曲を元に演奏技術を採点	譜読み
準備学習 時間外学習			読めない譜面を読めるように、技術が追いつかず演奏できない部分を出来るまで練習	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	室内楽(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	石戸谷 齊
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	①人と合わせる感覚を養う、西洋の伝統的な音楽を知り学ぶ、楽器のコントロール力をつける。 ②PCで学んだ技術を、人と合わせることにより、いろんな技法を駆使して対応する事を学び発見する。 ③以上の事を基盤として、管楽器と打楽器のアンサンブルを演奏し、感覚を養う。”						
到達目標	演奏できる事はもちろん、音色やピッチを周りと合わせ、様々な技法や語法習得する。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月8日	講義・演習	課題曲1(クラシック)	課題曲の譜読み・楽器練習を準備学習・時間外学習とする
2	10月15日	講義・演習	課題曲1(クラシック)	課題曲の譜読み・楽器練習を準備学習・時間外学習とする
3	11月5日	講義・演習	課題曲1(クラシック)・課題曲2(POPS)	課題曲の譜読み・楽器練習を準備学習・時間外学習とする
4	11月12日	講義・演習	課題曲2(POPS)	課題曲の譜読み・楽器練習を準備学習・時間外学習とする
5	11月19日	講義・演習	課題曲2(POPS)・課題曲3(Rock)	課題曲の譜読み・楽器練習を準備学習・時間外学習とする
6	11月26日	講義・演習	課題曲3(Rock)	課題曲の譜読み・楽器練習を準備学習・時間外学習とする
7	12月3日	講義・演習	課題曲3(Rock)・課題曲4(クリスマスソング)	課題曲の譜読み・楽器練習を準備学習・時間外学習とする
8	12月10日	講義・演習	課題曲4(クリスマスソング)	課題曲の譜読み・楽器練習を準備学習・時間外学習とする
9	12月17日	講義・演習	課題曲4(クリスマスソング)・課題曲5(J-POP)	課題曲の譜読み・楽器練習を準備学習・時間外学習とする
10	1月7日	講義・演習	課題曲5(J-POP)	課題曲の譜読み・楽器練習を準備学習・時間外学習とする
11	1月14日	講義・演習	課題曲5(J-POP)・課題曲6(Soul&Funk)	課題曲の譜読み・楽器練習を準備学習・時間外学習とする
12	1月21日	講義・演習	課題曲6(Soul&Funk)	課題曲の譜読み・楽器練習を準備学習・時間外学習とする
13	1月28日	講義・演習	課題曲6(Soul&Funk)・課題曲7(Latin)	課題曲の譜読み・楽器練習を準備学習・時間外学習とする
14	2月11日	講義・演習	これまでの楽曲を全て演奏	課題曲の譜読み・楽器練習を準備学習・時間外学習とする
15	2月18日	講義・演習	これまでの楽曲を元に演奏技術を採点	課題曲の譜読み・楽器練習を準備学習・時間外学習とする
準備学習 時間外学習			読めない譜面を読めるように、技術が追いつかず演奏できない部分を出来るまで練習	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Hard Rock Café Project(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	梅村雄也
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	TSM在校生が、LIVEを”Business”として展開できるように実際にシチュエーションで体感し、学ぶ。 学生たちが宣伝・集客活動、ストーリー性のあるセットリスト、ライブパフォーマンスを学びながら、実践することが目的。						
到達目標	アンサンブル能力、演奏技術を深めつつ、集客マーケティングを行うことにより、プロミュージシャンとして必要な総合的な技術・知識を得る。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月20日	講義・演習	オリエンテーション、授業内容説明	課題曲の準備と授業時間外での練習
2	5月27日	講義・演習	課題曲1 アンサンブルを通し、演奏技術、コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
3	6月3日	講義・演習	課題曲2 アンサンブルを通し、演奏技術、コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
4	6月10日	講義・演習	課題曲3 アンサンブルを通し、演奏技術、コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
5	6月17日	講義・演習	オーディション対策を通して、演奏技術・パフォーマンス技術を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
6	6月24日	講義・演習	オーディション対策を通して、演奏技術・パフォーマンス技術を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
7	7月1日	講義・演習	自由課題曲1 アンサンブルを通し、演奏技術、コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
8	7月8日	講義・演習	自由課題曲2 アンサンブルを通し、演奏技術、コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
9	7月15日	講義・演習	自由課題曲3 アンサンブルを通し、演奏技術、コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
10	7月22日	講義・演習	自由課題曲4 アンサンブルを通し、演奏技術、コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
11	7月29日	講義・演習	自由課題曲5 アンサンブルを通し、演奏技術、コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
12	8月5日	講義・演習	自由課題曲6 アンサンブルを通し、演奏技術、コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
13	8月19日	講義・演習	自由課題曲7 アンサンブルを通し、演奏技術、コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
14	8月26日	講義・演習	イベントを通じてステージ上でのアンサンブル技術を学ぶ	イベントでの演奏に向けた準備と課題曲練習
15	9月2日	講義・演習	イベントを通じてステージ上でのアンサンブル技術を学ぶ	イベントでの演奏に向けた準備と課題曲練習
準備学習 時間外学習			個人練習と課題曲の練習とアーティストについての考察	
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナルテキスト、楽器、iPadもしくはパソコン				

科目名	Hard Rock Café Project(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	梅村雄也
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	TSM在校生が、LIVEを”Business”として展開できるように実際にシチュエーションで体感し、学ぶ。 学生たちが宣伝・集客活動、ストーリー性のあるセットリスト、ライブパフォーマンスを学びながら、実践することが目的。						
到達目標	アンサンブル能力、演奏技術を深めつつ、集客マーケティングを行うことにより、プロミュージシャンとして必要な総合的な技術・知識を得る。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	ライブパフォーマンス、ステージングについて学ぶ	課題曲の準備と授業時間外での練習
2	10月14日	講義・演習	ライブパフォーマンス、ステージングについて学ぶ	課題曲の準備と授業時間外での練習
3	10月21日	講義・演習	自由課題曲7 アンサンブルを通し、演奏技術、コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
4	11月11日	講義・演習	自由課題曲8 アンサンブルを通し、演奏技術、コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
5	11月18日	講義・演習	自由課題曲9 アンサンブルを通し、演奏技術、コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
6	11月25日	講義・演習	自由課題曲10 アンサンブルを通し、演奏技術、コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
7	12月2日	講義・演習	自由課題曲11 アンサンブルを通し、演奏技術、コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
8	12月9日	講義・演習	自由課題曲12 アンサンブルを通し、演奏技術、コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
9	12月16日	講義・演習	自由課題曲13 アンサンブルを通し、演奏技術、コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
10	1月6日	講義・演習	自由課題曲14 アンサンブルを通し、演奏技術、コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
11	1月13日	講義・演習	自由課題曲15 アンサンブルを通し、演奏技術、コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
12	1月20日	講義・演習	自由課題曲16 アンサンブルを通し、演奏技術、コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
13	1月27日	講義・演習	自由課題曲17 アンサンブルを通し、演奏技術、コミュニケーション能力を高める	課題曲の準備と授業時間外での練習
14	2月10日	講義・演習	イベントを通じてステージ上でのアンサンブル技術を学ぶ	イベントでの演奏に向けた準備と課題曲練習
15	2月17日	講義・演習	イベントを通じてステージ上でのアンサンブル技術を学ぶ	イベントでの演奏に向けた準備と課題曲練習
準備学習 時間外学習			個人練習と課題曲の練習とアーティストについての考察	
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナルテキスト、楽器、iPadもしくはパソコン				

科目名	RecTech(3) Ba Rec Tech(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	前澤 卓
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・DAWを用いて、演奏家がセルフレコーディングする仕事が増加している昨今に対応すべく、ベーシストとして必要なDTM知識を学ぶ。 ・オリジナル曲を用い、自らDTMを操作しベースを録音して、納品に至るまでの実習を行う。 ・また、セッションの定番曲などを演奏し、ベースでメロディ、ソロを弾けるような技術を学ぶ。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピューターを用い、自らDAWを操作してベースの録音をする。 ・オリジナル曲に、自分なりのベースラインを作り、アレンジし演奏する。 ・録音物を、自分の好みや現場のニーズに応えられるような、DAWでの編集作業ができる。 ・あらゆるコード進行の曲でも、バックিং、ソロのアイデアを提示し、演奏できる。 						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・演習	DAWの器材を準備し、操作方法を知る。	各々のPCでの環境設定を行う。
2	5月25日	講義・演習	DAWで曲のプロジェクト準備をして、録音をする。	自分のDAW環境での実践。
3	6月1日	講義・演習	練習曲のレコーディング(パンチン、アウト)。	練習曲を録音する。
4	6月8日	講義・演習	練習曲のレコーディング(EQ、コンプを知る)。	自宅環境でのEQ、エフェクト処理をする。
5	6月15日	講義・演習	編集作業、ファイル書き出しから納品まで。	自宅環境での編集、納品の実践。
6	6月22日	講義・演習	オリジナル曲のレコーディング 1	録音したファイルの確認、リテイク。
7	6月29日	講義・演習	オリジナル曲のレコーディング 1	録音したファイルの確認、リテイク。
8	7月6日	講義・演習	定番コード進行でのセッション、ベースソロを弾く。	シーケンサーを用いたソロ練習。
9	7月13日	講義・演習	定番コード進行でのセッション、ベースソロを弾く。	シーケンサーを用いたソロ練習。
10	7月20日	講義・演習	オリジナル曲のレコーディング 2	録音したファイルの確認、リテイク。
11	7月27日	講義・演習	オリジナル曲のレコーディング 2	録音したファイルの確認、リテイク。
12	8月3日	講義・演習	定番コード進行でのセッション、ベースソロを弾く。	シーケンサーを用いたソロ練習。
13	8月17日	講義・演習	定番コード進行でのセッション、ベースソロを弾く。	シーケンサーを用いたソロ練習。
14	8月24日	講義・演習	イベント実践を通して各種器材について学ぶ	楽曲の予習・復習
15	8月31日	講義・演習	イベント実践を通して各種器材について学ぶ	楽曲の予習・復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	RecTech(4) Ba Rec Tech(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	前澤 卓
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・DAWを用いて、演奏家がセルフレコーディングする仕事が増加している昨今に対応すべく、ベーシストとして必要なDTM知識を学ぶ。 ・オリジナル曲を用い、自らDTMを操作しベースを録音して、納品に至るまでの実習を行う。 ・また、セッションの定番曲などを演奏し、ベースでメロディ、ソロを弾けるような技術を学ぶ。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピューターを用い、自らDAWを操作してベースの録音をする。 ・オリジナル曲に、自分なりのベースラインを作り、アレンジし演奏する。 ・録音物を、自分の好みや現場のニーズに応えられるような、DAWでの編集作業ができる。 ・あらゆるコード進行の曲でも、バックিং、ソロのアイデアを提示し、演奏できる。 						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	イベント実践を通して各種器材についてを学ぶ	楽曲の予習・復習
2	10月12日	講義・演習	イベント実践を通して各種器材についてを学ぶ	楽曲の予習・復習
3	10月19日	講義・演習	定番コード進行でのセッション、ベースソロを弾く。	シーケンサーを用いたソロ練習。
4	11月9日	講義・演習	定番コード進行でのセッション、ベースソロを弾く。	シーケンサーを用いたソロ練習。
5	11月16日	講義・演習	オリジナル曲のレコーディング 3	録音したファイルの確認、リテイク。
6	11月23日	講義・演習	オリジナル曲のレコーディング 3	録音したファイルの確認、リテイク。
7	11月30日	講義・演習	オリジナル曲のレコーディング 4	シーケンサーを用いたソロ練習。
8	12月7日	講義・演習	オリジナル曲のレコーディング 4	シーケンサーを用いたソロ練習。
9	12月14日	講義・演習	作曲、DAWによる音源制作の実践。	自宅環境での打ち込み、録音。
10	12月21日	講義・演習	オリジナル曲のレコーディング 5	録音したファイルの確認、リテイク。
11	1月18日	講義・演習	オリジナル曲のレコーディング 5	録音したファイルの確認、リテイク。
12	1月25日	講義・演習	オリジナル曲のレコーディング 6	録音したファイルの確認、リテイク。
13	2月1日	講義・演習	オリジナル曲のレコーディング 6	録音したファイルの確認、リテイク。
14	2月8日	講義・演習	後期テスト	テストに向けた対策・復習。
15	2月15日	講義・演習	総復習	後期の授業内容を復習する。
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ContemporaryMusicTheory(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	宮地遼
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽に関わる演奏者、作曲・編曲を行う者に必要なハーモニー、及び音楽の仕組みについて講義、ワークブックを通じて学ぶ。						
到達目標	ContemporaryMusicTheory(2)で学んだ基本的な知識から踏み込んで、演奏者や制作者になるため、また彼らと密なコミュニケーションを可能にする素養を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月19日	講義・演習	サブスティテュートドミナントコード	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
2	5月26日	講義・演習	サブスティテュートドミナントのコードスケール	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
3	6月2日	講義・演習	メジャーキーにおけるモーダル インターチェンジ①	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
4	6月9日	講義・演習	メジャーキーにおけるモーダルインターチェンジ②	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
5	6月16日	講義・演習	モーダル インターチェンジコードのコードスケール	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
6	6月23日	講義・演習	モーダル インターチェンジコードの分析	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
7	6月30日	講義・演習	マイナー キーにおけるモーダル インターチェンジ①	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
8	7月7日	講義・演習	マイナーキーにおけるモーダル インターチェンジ②	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
9	7月14日	講義・演習	モーダル インターチェンジコードのコードスケール	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
10	7月21日	講義・演習	モーダル インターチェンジコードの分析	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
11	7月28日	講義・演習	ブルースについて	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
12	8月4日	講義・演習	ブルースのコード進行とそのヴァリエーション	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
13	8月18日	講義・演習	ドミナントファンクションを持たないドミナントセブンスコード	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
14	8月25日	講義・演習	レビュー	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
15	9月1日	講義・演習	学期末試験	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
準備学習 時間外学習			テキスト、ワークブックを用いての予習・復習を中心とした自主学習。図書室に備えられている参考図書やiPadのアプリ等を利用した自主学習を行う。	
【使用教科書・教材・参考書】				
テキスト、ワークブック				

科目名	ContemporaryMusicTheory(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	宮地遼
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	演奏者、作曲・編曲・制作を行う者に必要な、ハーモニー、及び音楽の仕組みについて講義、ワークブックを通じて学ぶ。						
到達目標	現代のポピュラー音楽を演奏、作曲、編曲、制作を行うにあたって必須となるハーモニーの知識を、実際に演奏・作曲・編曲するレベルまで身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	ディミニッシュコードとその種類・機能	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
2	10月13日	講義・演習	ディミニッシュコードの解決	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
3	10月20日	講義・演習	ディミニッシュコードのテンションとコードスケール	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
4	11月10日	講義・演習	ディミニッシュコードとドミナントセブンスコードの関係	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
5	11月17日	講義・演習	転調の意味と種類	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
6	11月24日	講義・演習	転調の方法	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
7	12月1日	講義・演習	ヴォイスリーディングとガイドトーンライン	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
8	12月8日	講義・演習	ペダルポイント	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
9	12月15日	講義・演習	オスティナートについて	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
10	12月22日	講義・演習	コンパウンドコードとその構造・使い方	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
11	1月12日	講義・演習	コンスタントストラクチャー	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
12	1月19日	講義・演習	モーダルハーモニーの紹介	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
13	1月26日	講義・演習	モーダルハーモニーとコードハーモニー	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
14	2月9日	講義・演習	レビュー	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
15	2月16日	講義・演習	学期末試験	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
準備学習 時間外学習			テキスト、ワークブックを用いての予習・復習を中心とした自主学習。図書室に備えられている参考図書やiPadのアプリ等を利用した自主学習を行う。	
【使用教科書・教材・参考書】				
テキスト、ワークブック				

科目名	Traditional Harmony(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	宮地 遼
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	バークリー音楽大学に進んだのちに授業で求められる高度な音楽理論的楽曲理解能力を高めるための授業。楽曲の中でのコード、メロディー、ルートノートなどの役割の基礎、応用を学び自身の作曲又は編曲、及び音楽活動に活かせるよう教科書の記載内容と既存の曲などを照らし合わせながら理解を深める授業。						
到達目標	音楽を構成する基本的なハーモニーの要素を理解し基本的楽曲分析(アナライズ)、簡易的作曲、編曲を行えるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月20日	講義・演習	コース概要の説明。音階、音程を説明できる。	コース概要の説明。音階、音程の復習レポート作成
2	5月27日	講義・演習	コードタイプ、ダイアトニックコード、ソプラノ・アルト・テナー・バリトンの音域を説明できる。	コードタイプ、ダイアトニックコードの復習レポート作成
3	6月3日	講義・演習	ヴォイスリーディングの法則(メジャーキー)を説明できる。	ヴォイスリーディングの法則の復習レポート作成
4	6月10日	講義・演習	ルートポジションの3和音、主要和音と非主要和音を説明できる。	3和音、主要和音と非主要和音の復習レポート作成
5	6月17日	講義・演習	ヴォイスリーディングの法則を説明できる。	ヴォイスリーディングの法則の復習レポート作成
6	6月24日	講義・演習	転回形とフィギュアドベースについて説明できる。	転回形とフィギュアドベースの復習レポート作成
7	7月1日	講義・演習	中間テストに向けての準備、練習問題。	中間テストに向けての準備、練習問題復習レポート作成。
8	7月8日	講義・演習	中間テスト、及び中間課題の提出。	1~7の復習レポート作成。
9	7月15日	講義・演習	マイナーキーにおけるヴォイスリーディングの法則について説明できる。	マイナーキーの復習レポート作成
10	7月22日	講義・演習	与えられたメロディーの和声づけ、終止形について説明できる。	メロディーの和声づけ、終止形の復習レポート作成
11	7月29日	講義・演習	与えられたメロディーの和声づけ、フレーズ、終止形、楽句について説明できる。	メロディーの和声づけ、フレーズ、終止形の復習レポート作成
12	8月5日	講義・演習	セブンスコード、転回形、ヴォイスリーディング、ノンコードトーンについて説明できる。	セブンスコード、転回形の復習レポート作成
13	8月19日	講義・演習	ハーモニックテクチャー、コード進行にメロディーをつける。楽曲の形式。	楽曲の形式の自主研究復習レポート作成
14	8月26日	講義・演習	期末試験と期末課題の準備について説明できる。	1~13の復習レポート作成
15	9月2日	講義・演習	期末試験及び期末課題の提出。	総復習レポート作成
準備学習 時間外学習			業界で資料するクラシックアレンジのスキル習得。準備復習研究時間として週4時間	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Traditional Harmony(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	宮地 遼
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	パークリー音楽大学に進んだのちに授業で求められる高度な音楽理論的楽曲理解能力を高めるための授業。楽曲の中でのコード、メロディー、ルートノートなどの役割の基礎、応用を学び自身の作曲又は編曲、及び音楽活動に活かせるよう教科書の記載内容と既存の曲などを照らし合わせながら理解を深める授業。						
到達目標	音楽を構成する基本的なハーモニーの要素を理解し基本的楽曲分析(アナライズ)、簡易的作曲、編曲を行えるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	トラディショナルハーモニー & コンポジション を説明できる。	トラディショナルハーモニー & コンポジションの復習レポート作成。
2	10月14日	講義・演習	セカンダリードミナントとその他のノンダイアトニックコード解説できる。	セカンダリードミナントのの復習レポート作成
3	10月21日	講義・演習	転調について説明できる	転調のの復習レポート作成
4	11月11日	講義・演習	借用コードを解説する。	借用コードのの復習レポート作成
5	11月18日	講義・演習	セブンスコードとテンションコード(9th、11th、13th)を解説する。	セブンスコードのの復習レポート作成
6	11月25日	講義・演習	増6のコードと”ナポリの6度”のコードを解説できる。	増6のコードと”ナポリの6度”のコード復習
7	12月2日	講義・演習	復習、中間テスト、中間課題の準備。	復習、中間テスト、中間の復習レポート作成。
8	12月9日	講義・演習	中間テスト、中間課題の提出。	1~8回の復習の復習レポート作成
9	12月16日	講義・演習	借用コードの概念の拡大と転調の技法解説できる。	マイナーキーの復習レポート作成
10	1月6日	講義・演習	機能和外声の和声の解説できる。	機能和外声の和声のの復習レポート作成
11	1月13日	講義・演習	楽曲の形式の応用を学び、報告する。	楽曲の形式の復習レポート作成。
12	1月20日	講義・演習	19世紀の音楽を解説できる。	19世紀の音楽の分の復習レポート作成
13	1月27日	講義・演習	期末課題の説明と復習。	期末課題の説明との復習レポート作成
14	2月10日	講義・演習	期末試験と期末課題の準備。	期末試験と期末課題のの復習レポート作成
15	2月17日	講義・演習	期末試験及び期末課題の提出。	1-14回までの復習レポート作成
準備学習 時間外学習		業界で資料するクラシックアレンジのスキル習得。準備復習研究時間として週4時間		
【使用教科書・教材・参考書】				
東京スクールオブミュージック&ダンス専門学校				

科目名	Ear Training(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 前川瑞稀
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	よりシンガーに特化したリズムトレーニング、メロディー歌唱、聴音を行う。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・より高度なリズムとメロディーを理解し歌うことが出来る。 ・様々な種類のスケールを歌うことが出来る。 ・より高度なリズムとメロディーを聴きとり譜面に起こす事が出来る。 ・様々な種類のコードの聴き分けが出来る。 ・アカペラでアンサンブルすることが出来る。 					
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・演習	リズム→6/8拍子を学ぶ。メロディー歌唱→細かいリズムのメロディーを歌う。スケール歌唱。移動度で歌唱(キーF)。アカペラアンサンブル練習。	ワークシートを用いた予習・復習
2	5月25日	講義・演習	リズム→6/8拍子を学ぶ。メロディー歌唱→細かいリズムのメロディーを歌う。スケール歌唱。移動度で歌唱(キーF)。アカペラアンサンブル練習。	ワークシートを用いた予習・復習
3	6月1日	講義・演習	リズム→表現記号を意識して歌う。アカペラアンサンブル練習。 メロディー歌唱→細かいリズムのメロディーを歌う。スケール歌唱。移動度で歌唱(キーG)マイナーキーでの歌唱。	ワークシートを用いた予習・復習
4	6月8日	講義・演習	リズム→表現記号を意識して歌う。アカペラアンサンブル練習。 メロディー歌唱→細かいリズムのメロディーを歌う。スケール歌唱。移動度で歌唱(キーG)マイナーキーでの歌唱。	ワークシートを用いた予習・復習
5	6月15日	講義・演習	リズム→スウィングのリズムを学ぶ。アカペラアンサンブル練習。 メロディー歌唱→シンコペーションのメロディーを歌う。スケール歌唱。移動度で歌唱(キーB♭)マイナーキーでの歌唱。	ワークシートを用いた予習・復習
6	6月22日	講義・演習	リズム→スウィングのリズムを学ぶ。アカペラアンサンブル練習。 メロディー歌唱→シンコペーションのメロディーを歌う。スケール歌唱。移動度で歌唱(キーB♭)マイナーキーでの歌唱。	ワークシートを用いた予習・復習
7	6月29日	講義・演習	リズム→6/8の細かいリズムを学ぶ。アカペラアンサンブル練習。 メロディー歌唱→シンコペーションのメロディーを歌う。スケール歌唱。移動度での歌唱(キーD)マイナーキーでの歌唱。	ワークシートを用いた予習・復習
8	7月6日	講義・演習	リズム→6/8の細かいリズムを学ぶ。アカペラアンサンブル練習。 メロディー歌唱→シンコペーションのメロディーを歌う。スケール歌唱。移動度での歌唱(キーD)マイナーキーでの歌唱。	ワークシートを用いた予習・復習
9	7月13日	講義・演習	リズム→2/2拍子を学ぶ。アカペラアンサンブル練習。 メロディー歌唱→シンコペーションのメロディーを歌う。スケール歌唱。移動度での歌唱(キーD)マイナーキーでの歌唱。	ワークシートを用いた予習・復習
10	7月20日	講義・演習	前期テスト範囲発表。復習など。	ワークシートを用いた予習・復習
11	7月27日	講義・演習	後期テスト	ワークシートを用いた予習・復習
12	8月3日	講義・演習	後期テスト予備日	ワークシートを用いた予習・復習
13	8月17日	講義・演習	リズム→2/2拍子を学ぶ。アカペラアンサンブル練習。 メロディー歌唱→シンコペーションのメロディーを歌う。色々なキーの移動度で歌唱。マイナーキーでの歌唱。スケール歌唱。リズム・メロディー・コードの聴	ワークシートを用いた予習・復習
14	8月24日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	8月31日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			ワークシートを用いた予習・復習	
【使用教科書・教材・参考書】				
Ear Training1、2 Workbook				

科目名	Ear Training(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 前川瑞稀
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	よりシンガーに特化したリズムトレーニング、メロディー歌唱、聴音を行う。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・より高度なリズムとメロディーを理解し歌うことが出来る。 ・様々な種類のスケールを歌うことが出来る。 ・より高度なリズムとメロディーを聴きとり譜面に起こす事が出来る。 ・様々な種類のコードの聴き分けが出来る。 ・アカペラでアンサンブルすることが出来る。 					
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	リズム→表現記号を意識して細かいリズムを歌う。アカペラアンサンブルパート決めと練習。メロディー歌唱→色々なキーの移動度で歌唱。マイナーキーでの歌唱。スケール歌唱。	ワークシートを用いて予習・復習
2	10月12日	講義・演習	リズム→表現記号を意識して細かいリズムを歌う。アカペラアンサンブルパート決めと練習。 メロディー歌唱→色々なキーの移動度で歌唱。	ワークシートを用いて予習・復習
3	10月19日	講義・演習	リズム→3連符と2拍3連を歌う。アカペラアンサンブル練習。 メロディー歌唱→色々なキーの移動度で歌唱。マイナーキーでの歌唱。スケール歌唱。リズム・メロディー・コードの聴きとり。	ワークシートを用いて予習・復習
4	11月9日	講義・演習	リズム→3連符と2拍3連を歌う。アカペラアンサンブル練習。 メロディー歌唱→色々なキーの移動度で歌唱。マイナーキーでの歌唱。スケール歌唱。リズム・メロディー・コードの聴きとり。	ワークシートを用いて予習・復習
5	11月16日	講義・演習	リズム→12/8拍子のリズムを歌う。アカペラアンサンブル練習。 メロディー歌唱→マイナーキーの移動度で歌唱。スケール歌唱。リズム・メロディー・コードの聴きとり。コーラス譜面起こしなど。	ワークシートを用いて予習・復習
6	11月23日	講義・演習	リズム→12/8拍子のリズムを歌う。アカペラアンサンブル練習。 メロディー歌唱→マイナーキーの移動度で歌唱。スケール歌唱。リズム・メロディー・コードの聴きとり。コーラス譜面起こしなど。	ワークシートを用いて予習・復習
7	11月30日	講義・演習	リズム→復習。アカペラアンサンブル練習。 メロディー歌唱→マイナーキーの移動度で歌唱。スケール歌唱。リズム・メロディー・コードの聴きとり。コーラス譜面起こしなど。	ワークシートを用いて予習・復習
8	11月7日	講義・演習	リズム→復習。アカペラアンサンブル練習。 メロディー歌唱→マイナーキーの移動度で歌唱。スケール歌唱。リズム・メロディー・コードの聴きとり。コーラス譜面起こしなど。	ワークシートを用いて予習・復習
9	11月14日	講義・演習	リズム→復習。アカペラアンサンブル練習。 メロディー歌唱→マイナーキーの移動度で歌唱。スケール歌唱。リズム・メロディー・コードの聴きとり。コーラス譜面起こしなど。	ワークシートを用いて予習・復習
10	11月21日	講義・演習	後期テスト発表と今までの復習	ワークシートを用いて予習・復習
11	1月18日	講義・演習	リズム→創作リズムや、より難しいリズムに挑戦する。アカペラアンサンブルの練習。メロディー歌唱→メジャー・マイナーで色々なキーの移動度を歌う。	ワークシートを用いて予習・復習
12	1月25日	講義・演習	リズム→創作リズムや、より難しいリズムに挑戦する。アカペラアンサンブルの練習。メロディー歌唱→メジャー・マイナーで色々なキーの移動度を歌う。	ワークシートを用いて予習・復習
13	2月1日	講義・演習	リズム→創作リズムや、より難しいリズムに挑戦する。アカペラアンサンブルの練習。メロディー歌唱→メジャー・マイナーで色々なキーの移動度を歌う。	ワークシートを用いて予習・復習
14	2月8日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	2月15日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			ワークシートを用いて予習・復習	
【使用教科書・教材・参考書】				
Ear Training1、2 Workbook				

科目名	Creative Profession(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	梅村雄也
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	国際性のあるプロミュージシャンとして必要な「身構え」「気構え」「心構え」を学び、コミュニケーション能力、思考力、協調性、勤労観、職業観などを身につけます。						
到達目標	授業を通してチームワークでの作業や、将来設計を学び、留学後の音楽活動とエンターテインメント業界の国際視野を広げる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月21日	講義・演習	教室の使用方法・ITリテラシー	ワークシート
2	5月28日	講義・演習	生活レポートの記入	ワークシート
3	6月4日	講義・演習	音楽業界について学ぶ・チームアクティビティ	ワークシート
4	6月11日	講義・演習	生活レポートの記入・チームアクティビティ	ワークシート
5	6月18日	講義・演習	未来の音楽業界を考える	ワークシート
6	6月25日	講義・演習	プレゼンテーションの方法を学ぶ	ワークシート
7	7月2日	講義・演習	2020年代の音楽コンテンツをクラスで考える	ワークシート
8	7月9日	講義・演習	プレゼン発表	ワークシート
9	7月16日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・チームアクティビティ	ワークシート
10	7月30日	講義・演習	ビジネス講座・チームアクティビティ	ワークシート
11	8月6日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・チームアクティビティ	ワークシート
12	8月20日	講義・演習	ビジョンと目的について学ぶ・チームアクティビティ	ワークシート
13	8月27日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・チームアクティビティ	ワークシート
14	9月3日	講義・演習	イベントを通じて企画力やプレゼンテーションについて学ぶ	イベント開催の準備・チームミーティングを時間外学習とする
15	9月10日	講義・演習	イベントを通じて企画力やプレゼンテーションについて学ぶ	イベント開催の準備・チームミーティングを時間外学習とする
準備学習 時間外学習			毎週渡されるワークシートを用いて学習する	
【使用教科書・教材・参考書】				
ワークシート				

科目名	Creative Profession(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	梅村雄也
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	国際性のあるプロミュージシャンとして必要な「身構え」「気構え」「心構え」を学び、コミュニケーション能力、思考力、協調性、勤労観、職業観などを身につけます。						
到達目標	授業を通してチームワークでの作業や、将来設計を学び、留学後の音楽活動とエンターテインメント業界の国際視野を広げる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月8日	講義・演習	後期の過ごし方について・チームアクティビティ	ワークシート
2	10月15日	講義・演習	生活レポートの記入・チームアクティビティ	ワークシート
3	11月5日	講義・演習	新人発掘プレゼンテーションについて・チームアクティビティ	ワークシート
4	11月12日	講義・演習	生活レポートの記入・チームアクティビティ	ワークシート
5	11月19日	講義・演習	ライフプランニングについて学ぶ	ワークシート
6	11月26日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・チームアクティビティ	ワークシート
7	12月3日	講義・演習	ビジョンと目的目標の再確認・チームアクティビティ	ワークシート
8	12月10日	講義・演習	マーケティングについて学ぶ	ワークシート
9	12月17日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・チームアクティビティ	ワークシート
10	1月7日	講義・演習	冬休みの過ごし方・2年生への準備について・チームアクティビティ	ワークシート
11	1月14日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・チームアクティビティ	ワークシート
12	1月21日	講義・演習	年金・保険について学ぶ	ワークシート
13	1月28日	講義・演習	卒業後の海外または国内の音楽活動について考える	ワークシート
14	2月11日	講義・演習	イベントを通じて企画力やプレゼンテーションについて学ぶ	イベント開催の準備・チームミーティングを時間外学習とする
15	2月18日	講義・演習	イベントを通じて企画力やプレゼンテーションについて学ぶ	イベント開催の準備・チームミーティングを時間外学習とする
準備学習 時間外学習			毎週渡されるワークシートを用いて学習する	
【使用教科書・教材・参考書】				
ワークシート				

科目名	留学対策(3)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	梅村雄也
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習内容	留学に向けて英会話スキルを向上させる。 その他にも留学へ向けて、情報収集、資金計画を行っていく。						
到達目標	卒業後に留学ができるように英会話のスキルの向上をさせる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月22日	講義・演習	授業説明・留学についての説明	ワークシート
2	5月29日	講義・演習	留学に関しての情報収集について	ワークシート
3	6月5日	講義・演習	英会話対策 日常会話について①	ワークシート
4	6月12日	講義・演習	英会話対策 日常会話について②	ワークシート
5	6月19日	講義・演習	英会話対策 日常会話について③	ワークシート
6	6月26日	講義・演習	留学資金や期間についての計画①	ワークシート
7	7月3日	講義・演習	留学資金や期間についての計画②	ワークシート
8	7月10日	講義・演習	留学資金や期間についての計画③	ワークシート
9	7月31日	講義・演習	英会話対策 日常会話について(応用)①	ワークシート
10	8月21日	講義・演習	英会話対策 日常会話について(応用)②	ワークシート
11	8月28日	講義・演習	英会話対策 日常会話について(応用)③	ワークシート
12	8月7日	講義・演習	渡航の準備についての計画①	ワークシート
13	9月4日	講義・演習	渡航の準備についての計画②	ワークシート
14	9月11日	講義・演習	渡航の準備についての計画③	ワークシート
15	9月18日	講義・演習	試験(筆記テスト)	ワークシート
準備学習 時間外学習			授業前・授業後にワークシートを用いて時間外学習を行う。(1日1時間程度)	
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナルテキスト				

科目名	留学対策(4)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	梅村雄也
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習内容	音楽業界で活躍していく為には、楽曲の分析やオリジナル曲作曲、アレンジの能力が必要となる。本講義ではクラシック音楽理論の応用とその使用方法を学び、実際に表現に繋げていけるようにする。						
到達目標	音楽業界で活躍していく為に必要なクラシック音楽理論の応用と作曲方法を習得し説明ができるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月9日	講義・演習	後期の授業内容説明	ワークシート
2	10月16日	講義・演習	音楽用語に関する英単語を学ぶ①	ワークシート
3	10月23日	講義・演習	音楽用語に関する英単語を学ぶ②	ワークシート
4	11月6日	講義・演習	音楽用語に関する英単語を学ぶ③	ワークシート
5	11月13日	講義・演習	音楽用語に関する英単語を学ぶ④	ワークシート
6	11月20日	講義・演習	セッションにおけるコミュニケーションのための英会話を学ぶ①	ワークシート
7	11月27日	講義・演習	セッションにおけるコミュニケーションのための英会話を学ぶ②	ワークシート
8	12月4日	講義・演習	セッションにおけるコミュニケーションのための英会話を学ぶ③	ワークシート
9	12月11日	講義・演習	より高度な英会話の学修①	ワークシート
10	12月18日	講義・演習	より高度な英会話の学修②	ワークシート
11	1月8日	講義・演習	より高度な英会話の学修③	ワークシート
12	1月15日	講義・演習	より高度な英会話の学修④	ワークシート
13	1月22日	講義・演習	より高度な英会話の学修⑤	ワークシート
14	1月29日	講義・演習	より高度な英会話の学修⑥	ワークシート
15	2月12日	講義・演習	試験(筆記テスト)	ワークシート
準備学習 時間外学習			授業前・授業後にワークシートを用いて時間外学習を行う。(1日1時間程度)	
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナルテキスト				

科目名	Berklee Ensemble(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	宮地遼
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	課題曲を選定し、ブルース、ジャズ、ラテン、ポップスなど多くのジャンルの楽曲を通し、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。						
到達目標	パークリー音楽大学の試験対策を目的とし、多くのジャンルでの演奏技術・アンサンブル知識を習得することを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月19日	講義・演習	課題曲1を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲の分析と復習
2	5月26日	講義・演習	課題曲2を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲の分析と復習
3	6月2日	講義・演習	課題曲3を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲の分析と復習
4	6月9日	講義・演習	課題曲4を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲の分析と復習
5	6月16日	講義・演習	課題曲5を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲の分析と復習
6	6月23日	講義・演習	課題曲6を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲の分析と復習
7	6月30日	講義・演習	課題曲7を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲の分析と復習
8	7月7日	講義・演習	課題曲8を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲の分析と復習
9	7月14日	講義・演習	課題曲9を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲の分析と復習
10	7月21日	講義・演習	課題曲10を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲の分析と復習
11	7月28日	講義・演習	課題曲11を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲の分析と復習
12	8月4日	講義・演習	課題曲12を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲の分析と復習
13	8月18日	講義・演習	課題曲13を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲の分析と復習
14	8月25日	講義・演習	課題曲14を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲の分析と復習
15	9月1日	講義・演習	前期テスト・総復習	課題曲の分析と復習
準備学習 時間外学習			課題曲の分析と復習	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Berklee Ensemble(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	宮地遼
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	課題曲を選定し、ブルース、ジャズ、ラテン、ポップスなど多くのジャンルの楽曲を通し、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。						
到達目標	パークリー音楽大学の試験対策を目的とし、多くのジャンルでの演奏技術・アンサンブル知識を習得することを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	課題曲1を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲の分析と復習
2	10月13日	講義・演習	課題曲2を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲の分析と復習
3	10月20日	講義・演習	課題曲3を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲の分析と復習
4	11月10日	講義・演習	課題曲4を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲の分析と復習
5	11月17日	講義・演習	課題曲5を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲の分析と復習
6	11月24日	講義・演習	課題曲6を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲の分析と復習
7	12月1日	講義・演習	課題曲7を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲の分析と復習
8	12月8日	講義・演習	課題曲8を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲の分析と復習
9	12月15日	講義・演習	課題曲9を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲の分析と復習
10	12月22日	講義・演習	課題曲10を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲の分析と復習
11	1月12日	講義・演習	課題曲11を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲の分析と復習
12	1月19日	講義・演習	課題曲12を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲の分析と復習
13	1月26日	講義・演習	課題曲13を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲の分析と復習
14	2月9日	講義・演習	課題曲14を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲の分析と復習
15	2月16日	講義・演習	後期テスト・総復習	課題曲の分析と復習
準備学習 時間外学習			課題曲の分析と復習	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	著作権(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	林 達也
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し学んでいく。音楽業界の基本構造から学び、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス/カラオケビジネス/レンタルCDなどの基礎も学ぶ。 また、著作権の概念や目的の基本を理解する。著作物とは何であるかを理解した上で、現代における音楽著作権の問題点なども含め、著作権使用料/印税などの具体例や実例を挙げて考察していく。						
到達目標	音楽業界の基礎/著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル/考え方を得ることを目的とする。配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。 著作権を主とした権利マネジメント/ビジネスの概要を学んで行く。また、現代における著作権の問題点などもあわせて理解を深める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月22日	講義・演習	オリエンテーション/音楽業界の構造(1)/日本のレコード産業・全体像	教科書準備チェック/配布授業資料復習
2	5月29日	講義・演習	音楽業界の構造(2)/日本レコード協会・JASRAC	教科書予習/配布授業資料復習
3	6月5日	講義・演習	著作権の基礎(1)概要/構造	教科書予習/配布授業資料復習
4	6月12日	講義・演習	著作権の基礎(2)歴史/現在	教科書予習/配布授業資料復習
5	6月19日	講義・演習	アーティストの権利/印税とは	教科書予習/配布授業資料復習
6	6月26日	講義・演習	収入シミュレーション(CD販売)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
7	7月3日	講義・演習	収入シミュレーション(ダウンロード/音楽配信)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
8	7月10日	講義・演習	日本におけるカラオケの歴史と市場/印税配分	教科書予習/配布授業資料復習
9	7月31日	講義・演習	著作権の保護期間/フェアユース/問題点など	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
10	8月21日	講義・演習	ミュージックビデオ/プロモーションビデオの歴史と成り立ち	教科書予習/配布授業資料復習
11	8月28日	講義・演習	レンタルCD市場の歴史と著作権	教科書予習/配布授業資料復習
12	9月4日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの基礎(1)	教科書予習/配布授業資料復習
13	9月11日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの基礎(2)	教科書予習/配布授業資料復習
14	9月18日	講義・演習	音楽の仕事/音楽にまつわる職業の考察	教科書予習/配布授業資料復習
15	9月28日	講義・演習	まとめ/復習/期末課題への取り組み	期末課題取組準備
準備学習 時間外学習			教科書などを用いた授業への予習/毎授業で配布される授業資料を復習	
【使用教科書・教材・参考書】				
よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編/実践編 5th Edition (安藤 和宏) / 18歳の著作権入門 (福井 健策)				

科目名	著作権(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	林 達也
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し学んでいく。音楽業界の基本構造から学び、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス/カラオケビジネス/レンタルCDなどの基礎も学ぶ。 また、著作権の概念や目的の基本を理解する。著作物とは何であるかを理解した上で、現代における音楽著作権の問題点なども含め、著作権使用料/印税などの具体例や実例を挙げて考察していく。						
到達目標	音楽業界の基礎/著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル/考え方を得ることを目的とする。配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。 著作権を主とした権利マネジメント/ビジネスの概要を学んで行く。また、現代における著作権の問題点などもあわせて理解を深める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月9日	講義・演習	オリエンテーション/音楽業界の構造・応用編(1)	教科書準備チェック/配布授業資料復習
2	10月16日	講義・演習	音楽業界の構造(2)/日本レコード協会・JASRAC	教科書予習/配布授業資料復習
3	10月23日	講義・演習	著作権の必須知識/使える著作権	教科書予習/配布授業資料復習
4	11月6日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの応用(1)	教科書予習/配布授業資料復習
5	11月13日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの応用(2)	教科書予習/配布授業資料復習
6	11月20日	講義・演習	音楽における著作権侵害とは? 実例/具体例/判例など(2)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
7	11月27日	講義・演習	音楽における著作権侵害とは? 実例/具体例/判例など(2)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
8	12月4日	講義・演習	国際的な音楽活動/世界の音楽ビジネス事情	教科書予習/配布授業資料復習
9	12月11日	講義・演習	音楽ビジネスにおける各種契約(1)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
10	12月18日	講義・演習	音楽ビジネスにおける各種契約(2)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
11	1月8日	講義・演習	音楽ビジネスにおける録音フォーマットの歴史と変遷	教科書予習/配布授業資料復習
12	1月15日	講義・演習	変わりゆく著作権/時代と著作権との関係と問題点	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
13	1月22日	講義・演習	現在の音楽産業/これから10年後のビジネスモデル	教科書予習/配布授業資料復習
14	1月29日	講義・演習	音楽の仕事/音楽にまつわる職業の考察・応用編	教科書予習/配布授業資料復習
15	2月12日	講義・演習	まとめ/復習/期末課題への取り組み	期末課題取組準備
準備学習 時間外学習			教科書などを用いた授業への予習/毎授業で配布される授業資料を復習	
【使用教科書・教材・参考書】				
よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編/実践編 5th Edition (安藤 和宏) / 18歳の著作権入門 (福井 健策)				

科目名	音楽史(3)/History of Jazz in the 20th century	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	中町俊自
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習内容	音楽業界で活躍していく為には、深く歴史を知る必要がある。本講義ではジャズの歴史を学ぶ。						
到達目標	音楽業界で活躍していく為には、深く歴史を知る必要がある。本講義ではジャズの歴史を学び理解し説明ができるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・演習	アメリカの地理・歴史について説明ができる。	アメリカの地理・歴史の復習レポートをまとめる。
2	5月25日	講義・演習	19世紀のアメリカとその音楽。	19世紀のアメリカの復習レポートをまとめる。
3	6月1日	講義・演習	19世紀後半から20世紀のアメリカ社会について説明ができる。	19世紀後半から20世紀のアメリカ社会の復習レポートをまとめる。
4	6月8日	講義・演習	ニューオーリンズ・ジャズについて説明ができる。	ニューオーリンズ・ジャズの復習レポートをまとめる。
5	6月15日	講義・演習	スイング・ジャズとビッグバンドについて説明ができる。。	スイング・ジャズとビッグバンドの復習レポートをまとめる。
6	6月22日	講義・演習	モダンジャズの始まりとしての"ビ・バップ"ミュージックについて説明ができる。	モダンジャズの始まりとしての"ビ・バップ"ミュージックの復習レポートをまとめる。
7	6月29日	講義・演習	ハードバップ、アフロキューバン、そしてウエストコースト・ジャズについて説明ができる。	ハードバップ、アフロキューバン、の復習レポートをまとめる。
8	7月6日	講義・演習	中間試験、及び中間課題の発表・提出。	1~7回の復習レポートをまとめる。
9	7月13日	講義・演習	モードジャズの始まりと発展について説明ができる。	モードジャズの復習レポートをまとめる。
10	7月20日	講義・演習	フリージャズと呼ばれる音楽とそのスタイルについて説明ができる。	フリージャズの復習レポートをまとめる。
11	7月27日	講義・演習	"ビ・バップ"の発展とミュージシャンの変化について説明ができる。	"ビ・バップ"の復習レポートをまとめる。
12	8月3日	講義・演習	ロック。ジャズそれぞれについて説明ができる。	ロックに影響されるジャズの復習レポートをまとめる。
13	8月17日	講義・演習	ジャズと世界の音楽の交流について説明ができる。	ジャズと世界の音楽の交流の復習レポートをまとめる。
14	8月24日	講義・演習	現代、現在のジャズについて説明ができる。	現代、現在のジャズの復習レポートをまとめる。
15	8月31日	講義・演習	期末試験及び、期末課題の発表・提出。	1~14回の復習レポートをまとめる。
準備学習 時間外学習		西洋音楽について各年代のレポートを作成する、準備復習研究時間として週4時間		
【使用教科書・教材・参考書】				
Music History				

科目名	音楽史(4)/Influential African American Composers	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	中町俊自
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習内容	音楽業界で活躍していく為には、深く歴史を知る必要がある。本講義ではアフロミュージックの歴史を学ぶ。						
到達目標	音楽業界で活躍していく為には、深く歴史を知る必要がある。本講義ではアフロミュージックの歴史を学び理解し説明ができるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	アメリカの現代史と音楽ジャンルの説明ができる。	アメリカの現代史と音楽ジャンルの復習レポートをまとめる。
2	10月12日	講義・演習	スコット・ジョップリン(1868-1917)の説明ができる。	スコット・ジョップリン(1868-1917)の復習レポートをまとめる。
3	10月19日	講義・演習	デューク・エリントン(1899-1974)の解説ができる。	デューク・エリントン(1899-1974)の復習レポートをまとめる。
4	11月9日	講義・演習	ルイ・アームストロング(1901-1971)“ジャズ”について説明できる。	ルイ・アームストロング(1901-1971)の復習レポートをまとめる。
5	11月16日	講義・演習	ロバートジョンソン(1911-1938)ロック、ブルースについて説明できる。	ロバートジョンソン(1911-1938)の復習レポートをまとめる。
6	11月23日	講義・演習	チャーリーパーカー(1920-1955)インプロヴィゼーションについて解説できる。	チャーリーパーカー(1920-1955)の復習レポートをまとめる。
7	11月30日	講義・演習	マイルス デイヴィス(1926-1991)について解説できる。	マイルス デイヴィス(1926-1991)の復習レポートをまとめる。
8	12月7日	講義・演習	その他のアフリカン-アメリカン アーチストについて説明ができる。	1~7回の復習レポートをまとめる。
9	12月14日	講義・演習	ジェイムス ブラウン(1933-2006)ソウル、ファンクについて解説できる。	ジェイムス ブラウン(1933-2006)の復習レポートをまとめる。
10	12月21日	講義・演習	クインシー ジョーンズ(1933-)プロデューサーについて説明できる。	クインシー ジョーンズ(1933-)の復習レポートをまとめる。
11	1月18日	講義・演習	ジミヘンドリックス(1942-1970)について説明できる。	ジミヘンドリックス(1942-1970)の復習レポートをまとめる。
12	1月25日	講義・演習	モータウン(1959-1994)ポップスについて解説できる。	モータウン(1959-1994)の研究復習レポートをまとめる。
13	2月1日	講義・演習	スティーヴィー ワンダー(1950-)ソングライティングについて解説できる。	スティーヴィー ワンダー(1950-)の研究
14	2月8日	講義・演習	マイケル ジャクソン(1958-2009)モータウン、ポップスを解説できる。	マイケル ジャクソン(1958-2009)の研究
15	2月15日	講義・演習	学期末試験、学期末課題の発表・提出	1~14回の復習
準備学習 時間外学習			アフロミュージックについて各年代のレポートを作成する、準備復習研究時間として週4時間	
【使用教科書・教材・参考書】				
MUSIC HISTORY				

科目名	音楽史(3)/History of Western Music	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	中町俊自
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習内容	音楽業界で活躍していく為には、深く歴史を知る必要がある。本講義では西洋音楽の歴史を学ぶ。						
到達目標	音楽業界で活躍していく為には、深く歴史を知る必要がある。本講義では西洋音楽の歴史を学び理解し説明ができるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・演習	アメリカの現代史と音楽ジャンルの説明ができる。	グレゴリアンチャント、チャーチモード、記譜法の復習レポート
2	5月25日	講義・演習	スコット・ジョプリン(1868-1917)の説明ができる。	中世の西洋音楽の復習レポート
3	6月1日	講義・演習	デューク・エリントン(1899-1974)の解説ができる。	ルネッサンス期の西洋音楽の復習レポート
4	6月8日	講義・演習	レイ・アームストロング(1901-1971) "ジャズ"について説明ができる。	ルネッサンス期の西洋音楽の復習レポート
5	6月15日	講義・演習	17世紀の西洋音楽の概要、技法、作曲家についての説明ができる。	17世紀の西洋音楽の復習レポート
6	6月22日	講義・演習	17世紀の西洋音楽の概要、技法、作曲家についての説明ができる。	17世紀の西洋音楽の復習レポート
7	6月29日	講義・演習	18世紀の西洋音楽の概要、技法、作曲家についての説明ができる。	18世紀の西洋音楽の復習レポート
8	7月6日	講義・演習	18世紀の西洋音楽の概要、技法、作曲家についての説明ができる。	18世紀の西洋音楽の復習レポート
9	7月13日	講義・演習	中間確認テスト	1~8回までの復習総括レポート
10	7月20日	講義・演習	19世紀の西洋音楽の概要、技法、作曲家の説明をすることができる。	19世紀の西洋音楽の復習レポート
11	7月27日	講義・演習	19世紀の西洋音楽の概要、技法、作曲家②の説明をすることができる。	19世紀の西洋音楽の復習レポート
12	8月3日	講義・演習	20世紀以降の西洋音楽の概要、技法、作曲家①の説明をすることができる。	20世紀の西洋音楽の復習レポート
13	8月17日	講義・演習	20世紀以降の西洋音楽の概要、技法、作曲家②の説明をすることができる。	20世紀の西洋音楽の復習レポート
14	8月24日	講義・演習	学期末試験、学期末課題の説明の説明をすることができる。	1~14回までの復習総括レポート
15	8月31日	講義・演習	学期末試験及び、学期末課題の発表・提出。	総復習総括レポート
準備学習 時間外学習			西洋音楽について各年代のレポートを作成する、準備復習研究時間として週4時間	
【使用教科書・教材・参考書】				
MUSIC HISTORY				

科目名	音楽史(4)/History of Rock and Popular Music	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	中町俊自
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習内容	音楽業界で活躍していく為には、深く歴史を知る必要がある。本講義ではロック&ポップスの歴史を学ぶ。						
到達目標	音楽業界で活躍していく為には、深く歴史を知る必要がある。本講義ではロック&ポップスの歴史を学び理解し説明ができるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	アメリカの現代史を説明できる。	アメリカの現代史と音楽ジャンルの復習レポートをまとめる。
2	10月12日	講義・演習	ロックミュージックのルーツを解説できる。	ロックミュージックの復習レポートをまとめる。
3	10月19日	講義・演習	ロックンロールの誕生について解説できる。	ロックンロールの復習レポートをまとめる。
4	11月9日	講義・演習	フォークミュージックの誕生とムーヴメントについて解説できる。	フォークミュージックの復習レポートをまとめる。
5	11月16日	講義・演習	ブリティッシュミュージックについて説明できる。	ブリティッシュ音楽の復習レポートをまとめる。
6	11月23日	講義・演習	The Beatlesについて説明できる。	ビートルズについて復習レポートをまとめる。
7	11月30日	講義・演習	モータウンレーベルの誕生について説明できる。	モータウンレーベルについての復習復習レポートをまとめる。
8	12月7日	講義・演習	中間確認テスト	1~7回の復習
9	12月14日	講義・演習	1960年代のアメリカ、フラワームーヴメントについて説明できる。	1960年代の音楽の研究復習レポートをまとめる。
10	12月21日	講義・演習	ハードロック、グラムロックについて説明できる。	グラムロックの研究復習レポートをまとめる。
11	1月18日	講義・演習	ハードロックのポピュラー化について説明できる。	ハードロックの復習レポートをまとめる。
12	1月25日	講義・演習	パンクミュージックについて説明できる。	パンク音楽の復習レポートにおこす。
13	2月1日	講義・演習	MTVについて80年代について説明できる。	MTV80年代の研究復習レポートにおこす。
14	2月8日	講義・演習	ハウスミュージックについてについて説明できる。	ハウスミュージックの復習レポートにおこす。
15	2月15日	講義・演習	学期末試験、学期末課題の発表・提出	1~14回の復習レポートにおこす。
準備学習 時間外学習			ロック&ポップスについて各年代のレポートを作成する、準備復習研究時間として週4時間	
【使用教科書・教材・参考書】				
MUSIC HISTORY				

科目名	Theory of Harmony(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	小林幸恵
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	和声の基礎を学ぶ。 ①楽曲の理解を更に深める為に学ぶ ②DTMなど打ち込み、オリジナル曲の作曲、アレンジに必要なノウハウの基礎となる ③簡単な基礎から学び、多くの実験的集積により、発展への興味を期待したい ①～③ 要点の説明後、できるだけ多くの課題を実習する。						
到達目標	* テキストを完了する * ルートからメロディーを作る * メロディーから内声部、ルートを作る * 全ての調に対応可能とする 合理化され無駄なく構成された理論体系により、能率的に全般の学習を完了する 和声技術の基礎を身につける事で、更に高度の専門技術の学習に困難なく進む事を可能とする						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月21日	講義・演習	主音と音度について	オリジナルテキストを使用した自習と復習
2	5月28日	講義・演習	3和音、基本位置と転回位置	オリジナルテキストを使用した自習と復習
3	6月4日	講義・演習	声部、4声体について	オリジナルテキストを使用した自習と復習
4	6月11日	講義・演習	1声部における2音の継続関係	オリジナルテキストを使用した自習と復習
5	6月18日	講義・演習	2声部における同時-継時間関係	オリジナルテキストを使用した自習と復習
6	6月25日	講義・演習	連結について	オリジナルテキストを使用した自習と復習
7	7月2日	講義・演習	基本位置3和音の上3声の標準連結	オリジナルテキストを使用した自習と復習
8	7月9日	講義・演習	II→V、V→VIの連結	オリジナルテキストを使用した自習と復習
9	7月16日	講義・演習	3種の和音機能について	オリジナルテキストを使用した自習と復習
10	7月30日	講義・演習	カデンツの3種の型	オリジナルテキストを使用した自習と復習
11	8月6日	講義・演習	和音進行の可能性について	オリジナルテキストを使用した自習と復習
12	8月20日	講義・演習	旋法と主音について	オリジナルテキストを使用した自習と復習
13	8月27日	講義・演習	主音の移動について	オリジナルテキストを使用した自習と復習
14	9月3日	講義・演習	各調の総括	オリジナルテキストを使用した自習と復習
15	9月10日	講義・演習	前期テスト・総復習	オリジナルテキストを使用した自習と復習
準備学習 時間外学習			オリジナルテキストを使用した自習と復習	
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナルテキスト				

科目名	Theory of Harmony(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	小林幸恵
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	<p>和声の基礎を学ぶ。</p> <p>①楽曲の理解を更に深める為に学ぶ</p> <p>②DTMなど打ち込み、オリジナル曲の作曲、アレンジに必要なノウハウの基礎となる</p> <p>③簡単な基礎から学び、多くの実験的集積により、発展への興味を期待したい</p> <p>①～③</p> <p>要点の説明後、できるだけ多くの課題を実習する。</p>						
到達目標	<p>* テキストを完了する</p> <p>* ルートからメロディーを作る</p> <p>* メロディーから内声部、ルートを作る</p> <p>* 全ての調に対応可能とする</p> <p>合理化され無駄なく構成された理論体系により、能率的に全般の学習を完了する</p> <p>和声技術の基礎を身につける事で、更に高度の専門技術の学習に困難なく進む事を可能とする</p>						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月8日	講義・演習	3和音の第1転回位置について	オリジナルテキストを使用した自習と復習
2	10月15日	講義・演習	I・IV・Vの標準配置	オリジナルテキストを使用した自習と復習
3	11月5日	講義・演習	IIの配置・連結について	オリジナルテキストを使用した自習と復習
4	11月12日	講義・演習	第2転回位置3和音の標準位置	オリジナルテキストを使用した自習と復習
5	11月19日	講義・演習	3和音の仕様における定型	オリジナルテキストを使用した自習と復習
6	11月26日	講義・演習	3和音を含む標準連結	オリジナルテキストを使用した自習と復習
7	12月3日	講義・演習	3和音を含むバス課題の実践	オリジナルテキストを使用した自習と復習
8	12月10日	講義・演習	7の和音について	オリジナルテキストを使用した自習と復習
9	12月17日	講義・演習	V7の和音の配置	オリジナルテキストを使用した自習と復習
10	1月7日	講義・演習	9の和音について	オリジナルテキストを使用した自習と復習
11	1月14日	講義・演習	V9の配置	オリジナルテキストを使用した自習と復習
12	1月21日	講義・演習	V9→Iの連結	オリジナルテキストを使用した自習と復習
13	1月28日	講義・演習	並進9度についての制限	オリジナルテキストを使用した自習と復習
14	2月11日	講義・演習	D和音の定型について	オリジナルテキストを使用した自習と復習
15	2月18日	講義・演習	後期テスト・総復習	オリジナルテキストを使用した自習と復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	IEP(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	paul searle
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	外国人を前に怖がったり恥ずかしがったりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	英語で挨拶したり、自分の言いたいことを伝え、相手の言っていることを理解するなど、日常の場面で簡単な英語コミュニケーションができるようになる。						
評価方法 基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月20日	講義・演習	クラスメート(他の専攻の学生)と挨拶する トーキング:相手に質問することができるようになる/相手の質問に答えられるようになる	自己練習・復習
2	5月27日	講義・演習	リスニング トーキング:質問をさらに詳しく聞くことができるようになる	自己練習・復習
3	6月3日	講義・演習	リスニング トーキング:Yes/No 質問をすることができるようになる	自己練習・復習
4	6月10日	講義・演習	復習	自己練習・復習
5	6月17日	講義・演習	リスニング トーキング:Yes/No 質問を速くすることができるようになる	自己練習・復習
6	6月24日	講義・演習	リスニング トーキング:怪我・栄養物を説明できるようになる 1	自己練習・復習
7	7月1日	講義・演習	復習	自己練習・復習
8	7月8日	講義・演習	リスニング トーキング:怪我・栄養物を説明できるようになる 2	自己練習・復習
9	7月15日	講義・演習	リスニング トーキング:怪我・栄養物を説明できるようになる 3	自己練習・復習
10	7月22日	講義・演習	リスニング トーキング:家族・映画について話すことができるようになる	自己練習・復習
11	7月29日	講義・演習	復習	自己練習・復習
12	8月5日	講義・演習	リスニング トーキング:食べ物について話すことができるようになる	自己練習・復習
13	8月19日	講義・演習	リスニング トーキング:食べ物の種類を説明できるようになる	自己練習・復習
14	8月26日	講義・演習	リスニング トーキング:誕生日・日常生活について話すことができるようになる	自己練習・復習
15	9月2日	講義・演習	前期振り返り	自己練習・復習
準備学習 時間外学習			自宅で教科書に付随するオンラインプラクティスの内容を活用し、予習・復習を行うこと。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	IEP(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	paul searle
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	外国人を前に怖がったり恥ずかしがったりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	英語で挨拶したり、自分の言いたいことを伝え、相手の言っていることを理解するなど、日常の場面で簡単な英語コミュニケーションができるようになる。						
評価方法 基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	前期復習	自己練習・復習
2	10月14日	講義・演習	リスニング トーキング: 自宅周辺・音楽について雑談できるようになる	自己練習・復習
3	10月21日	講義・演習	リスニング トーキング: 学校・スポーツについて雑談できるようになる	自己練習・復習
4	11月11日	講義・演習	リスニング トーキング: 学校生活・Youtubeについて雑談できるようになる	自己練習・復習
5	11月18日	講義・演習	復習	自己練習・復習
6	11月25日	講義・演習	リスニング トーキング: 仕事について雑談できるようになる	自己練習・復習
7	12月2日	講義・演習	リスニング トーキング: 休暇・スマホについて雑談できるようになる	自己練習・復習
8	12月9日	講義・演習	リスニング トーキング: 外食・ペットについて雑談できるようになる	自己練習・復習
9	12月16日	講義・演習	復習	自己練習・復習
10	1月6日	講義・演習	リスニング トーキング: ショッピング・睡眠について雑談できるようになる	自己練習・復習
11	1月13日	講義・演習	リスニング トーキング: 旅行・読書について雑談できるようになる	自己練習・復習
12	1月20日	講義・演習	リスニング トーキング: 病気・週末について雑談できるようになる	自己練習・復習
13	1月27日	講義・演習	レベルチェックプラクティス1	自己練習・復習
14	2月10日	講義・演習	レベルチェックプラクティス2	自己練習・復習
15	2月17日	講義・演習	前期・後期振り返り	自己練習・復習
準備学習 時間外学習			自宅で教科書に付随するオンラインプラクティスの内容を活用し、予習・復習を行うこと。	
【使用教科書・教材・参考書】				